

令和5年度

愛媛県

SDGs推進企業
取組事例集

愛媛県SDGs推進企業



EHIME SDGS

愛媛県

はじめに

SDGsとは、持続可能な開発目標 (SDGs:Sustainable Development Goals) のことで、2015年の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。ジェンダー平等や持続可能な産業化の促進、気候変動対策など、17のゴールから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

企業にとっても、SDGsに取り組むことで、社会課題の解決に貢献できるだけでなく、新たなビジネス機会の創出や資金調達機会の拡大、人材の獲得などにもつながる可能性があります。

そこで、県では令和3年度から企業向けにSDGs活動の普及啓発を行っており、その一環として、「愛媛県SDGs推進企業登録制度」を実施しています。

本事例集は、登録制度に登録している企業等の皆様のSDGsの取り組みを取りまとめたものです。企業等の皆様がSDGsに具体的に取り組む上で、この事例集を参考としていただければ幸いです。

愛媛県SDGs推進企業登録制度

愛媛県では、SDGsの取り組みを行う県内企業等を登録する「愛媛県SDGs推進企業登録制度」を実施しています。

登録制度への登録を通じて、企業等の皆様のSDGs活動が見える化し、SDGs活動を促進するとともに、その活動を対外的に発信していくことを目的としています。

○登録のメリット

- ・登録マークの使用
- ・SDGsの取り組みを県HPなどでPR

○登録対象者

愛媛県内に本社又は支社等を有し、県内において事業活動を行う法人、団体（国及び地方公共団体を除く。）又は個人事業主






○申請の方法

下記URLに、実施要綱、申請書、Q&Aなどを掲載しています。申請書に必要な事項を記入いただき、電子申請システム又は郵送にて御提出ください。

<https://www.pref.ehime.jp/page/9002.html>



CONTENTS

 〈最優秀賞〉 福神汽船株式会社	3
 〈優秀賞〉 株式会社大石工作所	5
 〈優秀賞〉 社会福祉法人 恩賜財団 済生会松山病院	7
 〈奨励賞〉 宇摩森林組合	9
 〈奨励賞〉 株式会社古湧園（ホテル古湧園遥）	11

大同生命保険株式会社 松山支社	13	社会福祉法人エリム会	38
菊池建設工業株式会社	14	株式会社ニューズ	39
株式会社四国ライト	15	重松兄弟設備株式会社	40
金生商事株式会社	16	株式会社 CPI	41
株式会社ダスキン椿	17	株式会社中温	42
川之江信用金庫	18	株式会社建設マネジメント四国 松山営業所	43
ジャスティン株式会社	19	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 愛媛支店	44
株式会社建設マネジメント四国 大洲営業所	20	愛媛トヨタ自動車株式会社	45
株式会社宝荘ホテル（道後御湯）	21	株式会社光和電機	46
岡田電機株式会社	22	佐川印刷株式会社	47
有限会社田中総業	23	旭食品株式会社 松山支店	48
白石建設工業株式会社	24	株式会社グラン・ジュテ	49
東京海上日動火災保険株式会社 愛媛支店	25	株式会社久保建設	50
株式会社日本有機四国	26	株式会社石原自動車教習所	51
青木電気工業株式会社	27	道後ピクルス	52
株式会社ケイ・アール総合企画	28	株式会社 OK.G	53
株式会社ホーム設備	29	株式会社瀬戸内しまなみリーディング	54
松竹塗装有限会社	30	株式会社ベルモニー	55
株式会社ヒロ建設工業	31	愛媛海運株式会社	55
株式会社山全 愛媛営業所	32	有限会社エントロピー	56
みずほ証券株式会社 松山支店	33	株式会社山装	56
コンフォートホテル松山（株式会社グリーンズ）	34	有限会社土居真珠	57
農業生産法人株式会社ミヤモトオレンジガーデン	35	有限会社ウエコー	57
株式会社田窪工業所	36	企業組合こもねっと	58
①西日本電信電話株式会社 四国支店		愛媛菅公学生服株式会社	58
② NTT ビジネスソリューションズ株式会社 愛媛ビジネス営業部	37	愛媛県 SDGs 推進企業一覧	59
③株式会社 NTT フィールドテクノ 愛媛設備部			



福神汽船株式会社

代表者 / 代表取締役 瀬野 利之
業 種 / 船舶貸渡業
所在地 / 愛媛県今治市北日吉町 2 丁目 8 番 55 号
連絡先 / 0898-34-7711

SDGs 達成に向けた取組み

Kuroshio Smile Activity ~フィリピンの子どもたちに学用品を届けよう~



目的・背景

弊社はモノづくりをしている会社ではないため「不特定多数の人・社会」へのアプローチはなかなか難しいのですが、「船舶オーナー兼船舶管理」という**本業をベース**に昨今の社会・環境の課題に取組み、企業として成長していきたいという強い意志を持っています。

その中で令和 5 年度の目標は私たちの船を動かしている「**船乗り**」に注目し、彼らへの**感謝を込めて母国への支援**をするということでした。

弊社では **1,000 人以上のフィリピン人船員**を抱えており、彼らが世界各国へ船を運航して貨物を運んでおります。彼らの多くは貧しい家庭出身で、家族親戚一同の協力で船員学校へ通い、念願の船乗りとなり、安定した収入が確保できるようになってから親族へ恩恵の還元をしています。

会社としてもかねてから、彼らの家族や母国へ何か支援はできないかと考えておりました。そこで 1 年前にアンケート調査を行い「**私たちがフィリピンに何が出来るか**」と聞いたところ、一番多かった意見が「**貧しい地域の子どもたちに学用品（文房具など）を届けてほしい**」ということでした。フィリピンは台風や地震などの災害も多く、被災地への支援などは想像できたのですが、この回答には驚きました。公立の学校へ無料でも学用品が買えない世帯が多いということを初めて知りました。カバンや靴すら持たない子どもたちも多いのです。

そういった経緯でフィリピンの子どもたちに必要な物資を届けようというプロジェクトを立上げ、まずは視察調査（3つの島の学校巡り及び孤児院訪問）を行い、現地の先生方と時間をかけて話を煮詰め、最終的に2つの島で3つの小学校に学用品を届けることにしました。国の発展には子どもたちの教育が重要であり、その教育には学用品は不可欠です。

社内でこの活動につける名前を募り「**クロシオスマイルアクティビティ**」としました。クロシオ（黒潮）はフィリピンの海域から日本海域へ流れる有名な海流であり船乗りは誰でも知っている名前、また日本とフィリピンを結ぶ絆のシンボルという思いを込めて「**Kuroshio Smile Activity**」にしました。フィリピンといっても多くの島に多くの地域がありますが、私たちの船で働く船員さんの出身エリアに絞り「**イロイロ（パナイ島）**」と「**パコド（ネグロス島）**」の交通の便の悪い（貧しい）町を選びました。小学校選定にはそのエリア出身の船員さんに協力・提案をしていただきました。

具体的な取組内容

令和 5 年 3 月

視察に向向き、実際にフィリピンの学校事情や孤児院の様子を調査しました。

この視察で多くの貧しい家庭を目の当たりにし、彼らが実際どういった支援を必要としているかを聞き取りしてきました。学校まで 2 時間歩く子どもたちや、それでも靴を持たなかったり、ノートは 1 枚も書くスペースがないものを使っていたりという生徒もいました。

令和 5 年 4 月

社内で上記視察の報告会をし、社員に進捗報告しました。相談の結果、今回の目的はやはり私たちの船員さんの出身エリアを意識したため、孤児院や病院（学用品より経済的支援が必要）は見送り、小学校のみということにしました。今後の継続にあたり学校やエリアを増やすことを視野に、初回は 3 校に絞りました。どのエリアも地元の産業がなく、お父さんが出稼ぎに出るなど収入の厳しい町です。

令和 5 年 5 月頃～

各学校の先生と連絡を取り合い具体的な支給品と数、学年ごとの生徒数確認、現地での見積りを繰り返しました。小学校では日本と同様に学年ごとで使うノート（文字の稽古など）が異なるため、この準備はかなり時間がかかりました。支給のタイミングについて確認したところ「**8 月末が学校始めの月なのでその頃が一番助かる**」とのことでしたのでその時期に設定しました。

令和 5 年 7 月～ 8 月

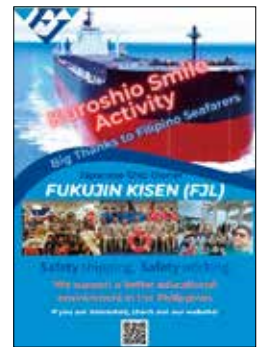
訪問日程を確定させ、訪問時のプログラム打合せを煮詰めました。

先生とのやり取りは Messenger です。山間部は電波が悪いことも多いようでしたが、比較的スムーズにやりとりできました。

この取組みは想像以上に現地で喜ばれ、先生方もかなり積極的に学校内で案内してくれたため、訪問前からものすごい盛り上がりがありました。

日本の会社から支援に来てくれるという情報が広まり、地域の方々の協力までいただくこととなりました。また、この時期から様々なステーキホルダーへお声がけし、社内で眠っているノベルティ等のペンやノート、エコバッグなどを譲っていただく活動を始めました。

令和 4 年に始めた「**船に古着を届けよう（Uni-T Activity）**」と掛け合わせで呼びかけたので、大量の洋服と文房具が集まりました。弊社が SDGs 活動に力を入れている



フィリピンの学校で当活動の PR をしたチラシ



ステーキホルダーへお配りしたチラシ

ことが広く認知されてきて、いろんな会社さん自ら物品を届けてくれることが増えました。
そのためフィリピンで手配済の文房具に加えて、日本で集まったものも合わせて届けることとしました。

令和5年8月29日～9月2日及び9月18日
Kuroshio Smile Activity 実施

小学校での実施プログラム

日本・愛媛の紹介（海も見たことがないような山奥の子どもたちなので不思議そうでした）
福神汽船の紹介（船のお話）
Kuroshio Smile Activity の説明（背景・目的・内容）
船乗りのお話（船員になる夢を持ってもらいたい）
一人一人支給品手渡し
先生方の挨拶やゲームなど

イロイロの山奥の小学校訪問は特に忘れられないものになりました。市内から大型車何台も連ねて3時間、足場の悪く傾斜のきつい道を上りましたが、台風の影響と足場の悪さで最後2Kmを車で進むことができなくなり、徒歩で川のような濁流の道を渡ったり沼のような泥道を歩いたりして学校にたどり着きました。
この道を通う小さな子どもたちがいることも驚きです。



山奥のため、先生たちは月曜から金曜まで泊まり込みで学校で過ごし、週末家に帰ります。エスコートいただいた船員配乗会社さんが子どもの数だけハンバーガーを差し入れてくれますが、ハンバーガーを初めて食べる子どももいました。

子どもたちへのアプローチとして「みんなの夢はなんですか？」と聞き、何人かに答えてもらってから「では夢を叶えるには何が必要な？勉強が大事だね。だから学用品を届けに来たよ」と説明しました。

付き添ってきてくれた船員さんには船乗り生活の話をしてもらい、船の仕事の魅力を伝えました。「Seafarer（船乗り）になる！！」と叫ぶかわいい子どもたちもいました。皆目がキラキラしていたことが印象的です。愛媛県の話や今治の海運業の話もして、皆興味津々でした。



令和5年10月

社内報告会を行い、社員に当活動について改めて報告しました。今回の成果だけでなく、反省点、今後の課題についても触れ、より多くの社員に関わってもらいたいとも伝えました。フィリピンの人々に喜んでもらえたことは嬉しいですが、「弊社で働く社員が誇れるような会社でありたい」ということもSDGs活動の醍醐味です。



成果

当初想像できなかったほど、この活動はフィリピン船員とその家族の心を惹きつけるものとなりました。自分たちの働く日本の会社が母国の教育支援をしてくれた、ということをととても誇らしく思っていただけでした。この話は瞬間に弊社のフィリピン人船員に伝わり（彼らはSNSが生き甲斐なので）自分たちも協力したい、という声もいただいています。

一度の学用品支援で子どもたちの夢が叶うわけでもありません。フィリピンの教育環境を目覚ましく変えることもできません。しかしながらフィリピン人船員を多く抱える日本の一企業として自分たちの身の丈に合った支援を続けること、これが当活動の軸であり、未来の船員がここから生まれ、愛媛県に興味を持つ子どもが増えたりすれば嬉しく思います。愛媛の海事業業が海外でも良いイメージを持っていただければと思います。



令和5年度は第三機関が認証する「イノベーションエンドースメント（IE）」も取得しました。財団法人日本海事協会が海事業界においてESG経営を進める「企業」や「製品」、また革新的な技術を取入れている「船舶」に与えられるものです。客観的評価をいただくことで改善や継続のモチベーションにつながっていけばと考えております。

担当者の思い

SDGsは国連の掲げる世界の目標ですが、企業版のSDGsは企業が社会と共に成長する目標だと捉えています。一時的なボランティア活動や事業と関連性のない社会貢献をしても持続性は保てないので、やはり本業をベースに社会活動を行うことが重要だと考えます。

また、社会のため、環境のため、もありますが、「より良い会社へ」の思いも大事です。SDGsを活用して従業員が生き生きと誇りを持って働ける会社でありたいと願っています。

〈ESG推進室長 原田 瑞紀〉

※ ESG推進室は本来は船舶の安全品質管理を担当する部署で、兼任となります。



アワード優秀賞

株式会社大石工作所

代表者 / 代表取締役 大石 憲一
業 種 / 製造業
所在地 / 愛媛県新居浜市多喜浜 6 丁目 2 番 45 号
連絡先 / 0897-46-1160

SDGs 達成に向けた取組み

住み続けられるまちづくりを目指す、インターンシップ&オープンファクトリー



目的・背景

新型コロナウイルス感染拡大によりオープンファクトリーが非開催となり、地域社会とつながる機会が減少していました。令和 5 年 5 月に、新型コロナウイルスが 5 類に移行したことによってオープンファクトリーの開催やインターンシップの受け入れ、出張講座等を再開しました。ものづくりの楽しさや地場産業、SDGs に関する学びの場の提供を実施しました。

具体的な取組内容

【インターンシップ】

実際に「見て、触れて、感じる」をテーマに、中学生から大学生までを対象とした、就業体験と SDGs の取組紹介及び体験会を企画・実施しました。

学校と企業で同時並行の学びを学生に体験させるデュアル型インターンシップや、就業体験期間中に学生に対して賃金が支払われるバイターンシップ、中学生を対象としたえひめジョブチャレンジ U-15 事業など、様々な形態で受け入れを行っています。

就業体験では、廃材を利用して工作物を製作することで、ものづくりの楽しさと資源の再利用を意識してもらうことを狙っています。



・再生可能エネルギーの活用

太陽光パネルで発電した電力で、工場内設備への供給や電気自動車への利用をしています。

インターンシップでは就業体験だけでなく、再生可能エネルギーの活用についても説明しています。取組みをより身近に感じてもらうため、自社設備で給電された電気自動車で拠点間を移動するなど、SDGs 取組体験をプログラムに組み込んでいます。



【オープンファクトリー】

新居浜市内の学生を中心に、ものづくりの楽しさや地場産業の説明、SDGs に関する学びの場を提供しています。

また、一般の方が普段立ち入ることのできないプラントをより身近に感じてもらうため、工場敷地内の公園でプラントの構造を疑似体験できます。



・ Oishi Park

地域振興イベント「えひめさんさん物語」で、彫刻家の柳原絵夢氏と社員のアイデアによって創り出された、プラントをモチーフにした公園が工場敷地内にあります。プラントで実際に稼働していた機器を再利用しているため、オープンファクトリー・インターンシップの際には学生にプラントの構造や、限られた資源を再利用する一例として紹介しています。



【SDGs 出張講座】

代表者の大石憲一が新居浜東高等学校の1年生を対象に「地域課題解決プロジェクト」の学習会として、「持続可能な魅力ある町づくり」をテーマに、地域課題解決や企業のSDGsの取組みを講義しました。



成果

インターンシップでは10名の学生を受け入れし、企業見学では学生及び一般の方を合わせて206名の受け入れをすることができました。ものづくりの楽しさや地場産業、SDGsに関する学びの場を提供したことで、11「住み続けられるまちづくりを」に貢献しました。

11月に開催した産業観光あかがねの道スタディーツアーでは、新居浜南高等学校の学生が運営したイベントに企画段階から参加しました。弊社では初めて学生の方と協力して開催したイベントとなり、新たな協力体制を築いたことで、17「パートナーシップで目標を達成しよう」に貢献することができました。



担当者の思い

令和5年はSDGsの取組みを自社だけで完結するのではなく、周囲を巻き込み、地域への発信と協働する取組みにまでステップアップすることができました。今後も地域との交流によって、所属や世代を超えた新たなSDGs視点を取り入れ、取組みの範囲や質の向上につなげていきたいと思っております。



〈総務部 担当 安宅 悠基〉



アワード優秀賞

社会福祉法人 恩賜財団 済生会松山病院

代表者 / 院長 宮岡 弘明
業 種 / 医療
所在地 / 愛媛県松山市山西町 880 番地 2
連絡先 / 089-951-6111

SDGs 達成に向けた取組み

離島診療



目的・背景

瀬戸内の島々の過疎化や高齢化は日本の 50 年先の縮図として捉え、島に治療医学からなる予防医学を根付かせていきたいと考え、「無医島の人々に医療の光を」という想いから診療船「済生丸」を造船。

自分の体は自分で守るという予防医学を検診の普及という形で実践し、瀬戸内海島嶼部の医療に恵まれない人々が安心して暮らせるよう医療奉仕につとめています。

具体的な取組内容

愛媛県の島嶼部に年 1 回訪問。

特定健診や各種がん検診に加え整形外科診療、眼科診療、栄養指導を実施し、島民の健康管理につとめています。

(宇和島市、八幡浜市のみ 2 回、診療内容は島によって異なります)

※なお、令和 4 年度については新型コロナウイルス感染拡大防止のため特定健診とがん検診のみ実施。

また、行政、JA 愛媛厚生連、愛媛の他の済生会病院とも協力しながら診療を実施しています。

成果

令和 4 年度の愛媛県の島嶼部のみでの受診者数は受診延人数 990 人でした。

(今治市を含む)

悪天候(台風)と新型コロナウイルスの影響で一部診療を中止した島もあり、当初の計画の予定人数を下回りましたが、行政や JA 愛媛厚生連と協力して診療を実施することができ、SDGs17 のゴールのうち、主に 3「すべての人に健康と福祉を」について貢献できたのではないかと思います。



担当者の思い



巡回診療により離島の人々の健康を守る済生丸の活動は、「誰一人取り残さない」というソーシャルインクルージョンの理念につながり、また普段病院内で勤務している職員にとっても貴重な経験ができる現場です。

準備等大変なところも多いですが、受診後の島民の方からの「ありがとう」や「また来てください」といった声を直接聞くことができ、各職員の経験値やモチベーションの向上にもつながり、とてもやりがいのある事業だと思います。これから取り組むべき課題も多いですが、今後についても「医療が受けられずに困っている人のために」という済生会創立の精神を胸に、可能な限り島民の方の思いに応えていきたいと思っています。〈健診センター 主事 齊藤 一馬〉

無料低額診療事業



目的・背景

済生会創立の原点である「施薬救療」の理念のもと、社会福祉の増進を図ることを目的に、経済的な理由により適切な医療を受けることができない人々に対し、無料又は低額で診療を行っています。

具体的な取組内容

医療ソーシャルワーカー（MSW）が患者さんから話を聞いて制度が適用できるかどうか確認し、制度が適用された患者さんに対して、無料又は低額で診療を行っています。もし、適用とならない場合も他の方法を一緒に考えていきます。MSWは医療・福祉につながる“道”へのガイドの役割を担い、生活上のさまざまな課題の支援をしていきます。

（無料低額診療事業の広報活動等として以下の取り組みを行っています）

- ・無料低額診療事業について十分な理解を得るため、医師・職員に対する研修を実施。通院・入院患者より医療費の支払いに困っていると声があげれば、すぐにMSWに連絡が入り相談に応じる体制が構築されています。
- ・松山市社会福祉協議会、生活福祉課、地域包括支援センター等に制度について説明し、パンフレットや相談券を配布。
- ・地域包括支援センターと協働して地域住民に向けた家族介護教室を開催し、制度のアナウンスを実施。
- ・更生保護施設入所者に対する無料検診を年2回実施。

成果

- ・毎月4～7件の新規利用につながっています。
- ・制度を活用した患者さんより「安心して病院に通えるようになりました」と感謝の言葉もいただくこともあり、利用者の方の負担軽減につながっています。

担当者の思い

無料低額診療事業はただ単に医療費を無料にするだけではなく、その人の生活の安定を促す重要な役割を果たしていると思います。相談に入る者のみならず、院内全体、地域全体で支える構図になっているため、患者さんの安心にもつながります。

必要な医療を提供することで、健康な身体を手に入れ、充実した日常生活を送ってもらいたいと願っていますので、患者さんの元気な姿や笑顔を見たときにやりがいを感じます。

〈地域連携室 主任 阿川直樹〉





宇摩森林組合

アワード奨励賞

代表者 / 代表理事 組合長 苅田 耕一

業 種 / 林業

所在地 / 愛媛県四国中央市具定町 465 番地 5

連絡先 / 0896-24-2775

SDGs 達成に向けた取組み

SDGs 視点による、小・中・高校生への森林・林業教室の実施 (木製 SDGs 普及啓発用看板の贈呈)



目的・背景

少子高齢化による後継者不足や、若者の流出などから、地元の一部荒廃が開始された中、SDGsの基本理念である「誰一人取り残さない！四国中央（宇摩）の森を目指す」をコンセプトとし、「森林文化の継承・持続可能な森林経営」を具現化し、持続可能な「ふるさとの山づくり」を進めることを最終目的に、将来を担う若者づくりから取り組んでおります。

具体的な取組内容

①県立土居高校での森林林業教室

- (1) 日 時 令和 5 年 9 月 19 日 and 10 月 10 日
- (2) 場 所 土居町内の公有林 and 加地工務店の建築現場
- (3) 教育内容 森林・林業の現状や公益的機能を理解してもらうとともに、林業の高性能機械化によるイノベーション及び木材住宅の炭素固定機能の高さを、地元高校生に身をもって体験してもらいました。



土居高校 森林林業教室



令和 5 年 10 月 10 日土居高校林業体験学習の際に行われたモニュメント贈呈の様子

②県立川之江高校での先輩塾

- (1) 日 時 令和 5 年 11 月 7 日
- (2) 場 所 川之江高校の教室 及び 運動場
- (3) 教育内容 川之江高校の卒業生で、素材生産業者の若手社員を招き、林業の仕事場の体験談を披露してもらい、持続可能な林業経営や、森の維持保全管理に理解を求めるとともに、高校生がドローンを操作し、森林調査の現状も体験してもらいました。



川之江高校 先輩塾

③四国中央市立中曽根小学校での木工教室

- (1) 日 時 令和 5 年 11 月 9 日
- (2) 場 所 中曽根小学校の体育館
- (3) 教育内容 地元の老人クラブからなる「嶺南木工会」の協力を得て 3 世代交流の輪を進めるとともに、鋸・金槌を使用して木材との触れ合いをすることにより、森林の大切さを学びます。



中曽根小学校 木工教室

④四国中央市立新宮小中学校での森林林業教室

- (1) 日 時 令和 5 年 11 月 16 日
(2) 場 所 新宮小中学校 学有林
(3) 教育内容 当該学校で先輩方が保育してきた学有林で実際の間伐作業をライブで見学するとともに、直接、間伐作業の一部を手伝い、伐採木の枝を鋸で切断するなどして持ち帰った円盤状の板で、12 月には木作品を作成します。これらのことにより里山や、山村地域で生活することの面白さを伝えるとともに、新宮地区の木（ミツマタ等）が、かつて和紙の原料となり、現在の「日本一の紙のまち」を支えてきた経緯を認識してもらい、自信を持っていただくことができました。



新宮小中学校 森林林業教室

成果

- ①愛媛新聞の土居高校生のインタビュー記事（R5.9.24）のとおりに、「将来の選択肢として考えたい」との声が届きました。
②川之江高校生からは、「ドローンの操作が楽しかった。四国中央市の森林の豊かさを学んだ」との声が届きました。
③中曽根小学生からは、「木作品を親に見せるとびっくりしてくれた」との声が届きました。
④新宮小中学生からは、「鋸の操作は怖かったけど、作品ができて良かった」等の反響がありました。
なお、土居高校、川之江高校、新宮小中学校には、木製の「SDGs 普及啓発用木製看板」（四国中央市の山林から伐採し加工した）を森林組合から寄贈し、今後学校が行う SDGs に関する活動や社会貢献活動に、シンボリックに活用してもらうこととなりました。

担当者の思い

例えば、川之江高校のホームページには、教育方針に「国際的な視野に立ち…」、そして指導目標には「郷土を愛し、地域社会の発展に貢献する」とあります。SDGs 普及啓発用木製看板を贈呈する際には、各学校に、林業をすること自体が持続可能な国際的開発目標の 17 目標のうち実に 14 目標に関連がある事を、学生の皆様に伝授することができたと自負しております。今回は、四国中央市内に数ある学校のうち 4 校に留まっているので、今後とも SDGs の普及と、森林林業の果たす役割を説いてまいりたいと考えているところです。

〈宇摩森林組合 常勤理事 村上 尚哉〉





SDGs 達成に向けた取組み

ZEB ホテルの運営と ZEB の広報 ~人と環境にやさしいホテル~



目的・背景

耐震への備えを含めたホテルの建て替えに際し、国際的な視野を持ち、環境対策を行うことは、省エネルギーによるコスト削減だけではなく、増加している訪日外国人観光客に対して「環境に配慮した世界基準の環境対応型ホテル」として PR できることに魅力を感じ、より困難なホテルの ZEB 化をあわせて進めることを決意し、令和元年 10 月、最古の歴史を持つ道後温泉において、最新の環境対応型ホテルが完成。人と環境にやさしいホテルです。



太陽熱集熱器

真空 2 重ガラス管式太陽熱集熱器 (集光ミラー形) : 2.28㎡× 108 台



8F 展望大浴場 遥の湯

具体的な取組内容

ZEB ホテルと ZEB の宣伝 (11、13)

- ・ ZEB ホテルの運営と ZEB リーディングオーナーとしての PR により環境保全の環の拡大。
- ・ 愛媛県内外の企業や団体、自治体に対して無料の説明会や設備見学会を実施。



法人向け無料セミナーのご案内

地産地消・健康志向の献立の開発 (3、8)

- ・ 季節ごとの旬の地産地消の食材を使ったメニューにより輸送エネルギー削減の貢献と、提供方法の改善による食べ残しの削減。



アボカドスモークサーモン



紅い栗とピスタチオのデザート ~苺のジュレと練乳のソース添え~



愛媛県産のお米「ひめの凧」を使ったボン菓子デザート

とべ動物園とのコラボによるコンセプトルーム
 < TOBEZOO ROOM > (17)

とべ動物園は、地元の公立動物園として、生物多様性の体験や環境教育の場の提供といった役割を担っています。道後を訪れた観光客に、コラボルームでの宿泊を提案。動物園を疑似体験するとともに、実際に動物園に周遊してもらうしくみを作りました。
 ＊特設サイト

<https://www.kowakuen.com/event/tobezoo.html>



報道向け内覧会用ポスター



TOBEZOO ROOM ～夢見るピース～

地元企業とのコラボによる
 地産地消をテーマにしたイベントの開催 (17)

地元食品製造企業やキッチンカーとともに坊っちゃん広場で愛媛県産の食品の試食、販売イベントを実施。



令和5年5月「愛媛の味マルシェ」



令和5年11月「愛媛の味マルシェ」



「道後 坊っちゃん広場」とホテル

成果

- ・企業イメージとブランドカアップによる客室単価の改善とビジネスユース (s/u) の増加。
- ・業界第1位の取扱を誇るOTA Booking.comにて「トラベルサステナブル」レベル2を獲得。
- ・第7回愛媛ふるさと環境大賞受賞。
- ・令和4年度気候変動アクション環境大臣表彰 先進導入・積極実践部門 緩和分野にて気候変動アクション大賞受賞。

担当者の思い

仕事の上で取り組ませていただいているとはいえ、日常生活においても、人と環境の持続可能な社会に向けた視点で物事をとらえるようになりました。

〈営業部企画広報課 課長 真鍋 こずえ〉

大同生命保険株式会社 松山支社

代表者 / 支社長 前田 知久
業 種 / 生命保険業
所在地 / 愛媛県松山市三番町 4 丁目 12-4
連絡先 / 089-921-7391

SDGs 達成に向けた取組み

中小企業におけるサステナビリティ経営の実践支援



目的・背景

これまで中小企業とともに歩みを進めてきた当社が、自ら社会的な責任を果たしつつ、中小企業とともに社会課題の解決に取り組んでいくことを明確化するため、令和 5 年 3 月に「サステナビリティ推進計画」を策定しました。

本計画のもと、中小企業が抱える幅広い社会的課題の解決を通じて「中小企業で働く方とそのご家族のウェルビーイング」を実現するとともに、中小企業の持続的発展を通じた「サステナブルな社会」の実現に貢献していきます。

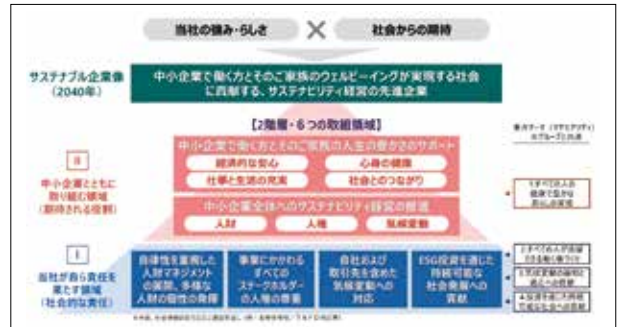
具体的な取組内容

以下の取組みを通じて中小企業におけるサステナビリティ経営を推進し、中小企業が抱える幅広い社会課題の解決を目指しています。

- 中小企業経営者の幅広いリスクに対応するため、死亡保障だけでなく就業不能時の保障も合わせた提案を推進し、事業継続を支援（通年）
- 中小企業によるサステナビリティ経営の実践を後押ししていくため、「サステナビリティ経営実践ガイド」を作成、サステナビリティ経営の基本知識やポイントとあわせて、実践している中小企業の具体的な事例や支援策をわかりやすくまとめ、無料で提供（令和 6 年 2 月）
- 経営者による健康経営宣言の社内共有、企業の「健康診断の受診促進の支援」、経営者・従業員個々の「生活習慣病等の発症リスク分析」、継続的な健康増進の取組みを促す「健康促進ソリューション」「インセンティブ」の提供等、健康経営に必要な PDCA サイクルの実践を一貫してサポートする「KSP (KENCO SUPPORT PROGRAM)」の提供を通じ、中小企業における健康経営の実践を支援（通年）
- また、当社独自の表彰制度「DAIDO KENCO AWARD」を創設し、取組みが顕著な 75 社を表彰（令和 5 年 3 月）、表彰企業の取組内容を当社特設サイトに公表（令和 5 年 6 月）
- SDGs への取組みに関心のある中小企業と、それを実現する技術やサービスを持つ企業とをつなげ、サステナビリティ経営実践の第一歩を後押しする「サステナビリティ経営支援プログラム」を展開（通年）
- 神戸大学経済経営研究所と「中小企業のサステナビリティ経営」をテーマに共同研究を実施し、研究報告書の公表とともにシンポジウムを開催（令和 5 年 3 月）

成果

全国の中小企業経営者を対象に「景況感」や「経営課題」等の「生の声」を集め、レポートにまとめお届けする当社独自の中小企業経営者アンケート「大同生命サーベイ」の令和 5 年 10 月度調査では、サステナビリティ経営の認知度は令和 3 年と比べ + 27pt と着実に上昇するとともに、約 3 割の中小企業がサステナビリティ経営を実践するに至っており、各種取組みを通じ中小企業のサステナビリティ経営の認知・実践に貢献しています。



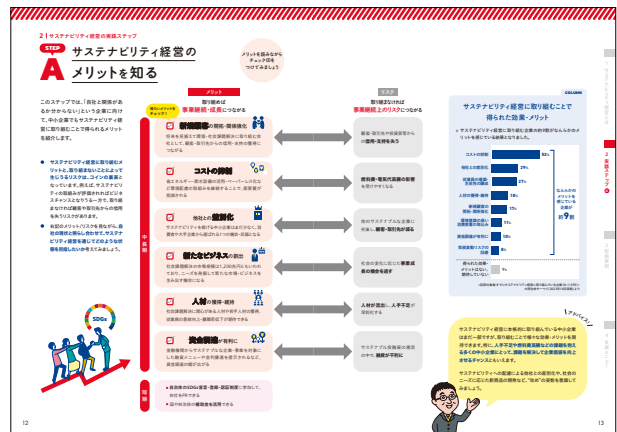
サステナビリティ推進計画の全体像



KSP (KENCO SUPPORT PROGRAM) トップ画面



サステナビリティ経営実践ガイド



担当者の思い

大企業に比べると、中小企業はサステナビリティ経営に関する情報が不足しがちですが、当社が積極的に情報を提供することで徐々に浸透しているように感じています。



〈松山支社 コンダクトマネージャー 谷殿 精一〉

SDGs 達成に向けた取組み

下水道管路のストックマネジメントの推進



目的・背景

日本の下水道管渠の総延長は約 49 万 km あり、標準耐用年数 50 年を経過した管渠の延長約 2.5 万 km、20 年後は 19 万 km (39%) と今後は急速に増加します。

そのなかで、国が推進する既存ストックを活用し、耐用年数を延伸するというストックマネジメントの考えに基づき、管路更生の各工法の技術取得に取り組んでいます。

具体的な取組内容

以前は、スクラップアンドビルドという考えのもと、古くなったものを壊して、新しいものを設置するという開削工法でインフラ（下水道管）の健全性を保っていました。

従来の開削工法では、大型の機械・車両を使用するため、それに付随し多くの燃料を必要とするため、GHG（温室効果ガス）の排出量が増え、また多くの産業廃棄物（老朽管）の発生があります。

しかし現在では、既存の下水道管を活用し、耐震化・長寿命化を図る管路更生への取組みが各自治体で進んでいるため、地域のインフラに携わる企業として、様々な現場環境に応じた対応ができるよう高品質で多彩な工法を取り扱い、工事を実施することで、GHG の削減・産業廃棄物の削減につながっています。

施工現場例

松山市発注工事「公共下水道管渠長寿命化工事（その 30）」（R5.11 完成）

松山市発注工事「修繕 4 東中島地区簡易水道導水管再生工事（中島大浦）」（R5.3 完成）

成果

適正な工事を行い、下水道管理者の要求事項を完遂することで、SDGs17 のゴールのうち、6「安全な水とトイレを世界中に」11「住み続けられるまちづくりを」13「気候変動に具体的な対策を」に貢献しました。

担当者の思い

今後は、SDGs やカーボンニュートラルへの取組みが、必要不可欠な時代が既に到来していると感じているので、これからも可能な範囲で取組みを継続していきたい。

〈代表取締役 菊池 臣起〉



施工前



完了

SDGs 達成に向けた取組み

海岸清掃ボランティア



目的・背景

毎年、88 ウォーク四国や愛ロードにボランティア参加しており、建設業として日頃から道路清掃や除草作業に取り組んでおります。昨今、港湾関連の工事に携わる事が多くなり、港や海岸で作業をする中、ゴミの問題にも直面することがあり、関心を持つようになりました。

具体的な取組内容

令和 5 年 11 月 5 日、今治市湊・大新田海岸にて「湊・大新田ビーチフェスティバル 2023」が開催され、社内の有志とその家族で参加しました。ゴミ拾いを通して海洋ゴミの問題に関心を持ち、他の参加者との交流もできました。「ゴミ拾いはスポーツだ」を合言葉に、競技性を持たせたスポーツゴミ拾いを展開した取組みで、年齢・職業・家族・企業など様々なグループが参加され、楽しみながらゴミ拾いをする事ができました。



成果

成果としては約 1 時間で大袋に 5 袋、自動車のタイヤなど、危険な漂流物なども収集できました。終了後は、あまりのゴミの多さに驚く声もあり、海洋ゴミについて改めて考えるきっかけとなる良い経験になりました。また、次回も機会があれば参加したいという声も聞かれ、参加の意義があったと感じました。取組みに関しては SNS で発信し、お取引先様とも話すきっかけになりました。

担当者の思い

取り組む事が初めてでも、楽しさを見いだせるイベントはとても魅力的に感じました。例えば、海洋ゴミ問題は直接的に仕事に関わらなくても、他人事と捉えずに自分自身にも関係する問題として、目線を変えて積極的に取り組む事を社員全体で共有したいと思います。また、社員と家族のコミュニケーションにも役立つと考えています。

〈事業推進部 部長 越智 貴洋〉

SDGs 達成に向けた取組み

再生可能エネルギーへの置き換えと車両のEV化・HV化の推進



目的・背景

当社のような中小企業では、SDGs や環境問題に対する投資は二の次で生産性や費用対効果を重視することが当たり前でした。しかし、企業として環境問題に取り組まなければならないと感じるようになり、既実践している大手企業などをお手本に当社ができる小さなことから活動を始めるようになりました。

具体的な取組内容

令和 5 年 5 月に箕浦事業所に売電等を目的としたものではなく、再生可能エネルギーとして 100%自社で使用することを目的とした太陽光発電設備を設置しました。現段階で消費電力の約 35%ほどを再生エネルギーに置き換えることができました。最初は小規模で設置し効果を検証して、今後は再生可能エネルギー 100%の事業所を目指し、電力購入が限りなく 0 になるように追加投資や新たな方法を検討していきます。

また、ガソリン車の社用車やディーゼルのトラック、フォークリフト等の CO₂ 排出量の多い車両を HV 車や EV 車への置き換えに取り組んでいます。本社の社用車も HV 車に置き換えが完了しており、新たに令和 6 年 2 月頃 PHEV 車も導入予定です。フォークリフトはディーゼルタイプのものが 8 割強の割合を占めているので、2050 年までに EV 化を目指し取り組んでいきます。これまで導入実績のなかった尼崎事業所も環境に配慮し、従来のディーゼルタイプのフォークリフトより金額が 1.5 倍ほど高い最新のハイキャパシティ使用のバッテリーフォークリフトに令和 6 年 3 月置き換える予定です。

今後も環境改善に関する投資を積極的に行っていきます。



HV 社用車



バッテリーフォークリフト



太陽光発電

成果

自社使用の太陽光パネルの設置や社用車やフォークリフトを EV 化・HV 化することで、目に見える環境対策への投資が社員のモチベーションアップ・意識の向上や社外へのイメージアップ等、良い影響を与えています。

それ以外にも太陽光パネルの設置で消費電力を削減できたためコストダウンにもつながりました。

また社員の意識の向上がエコドライブの実施や分別等、良い循環になっています。

担当者の思い

SDGs に取り組み始めて 3 年目になりました。最初は何から手を付けて良いかも分からず、大手の真似をしようとしても規模感のギャップがあり、実行には進めませんでした。ですが自分たちができることは何かを考え、小さなことから取り組んで行くことで段々と成果が出てきたと感じます。環境対策への意識や投資は大手企業だけのものではなく、中小企業でもやればできると実感しています。

〈取締役 尼崎事業所長 藤川 功基〉



株式会社ダスキン椿

代表者 / 代表取締役社長 河野 康弘
業 種 / サービス業(お掃除用具のレンタル・販売・ハウスクリーニング・高齢者介護)
所在地 / 愛媛県松山市東長戸 4 丁目 2 番 17 号
連絡先 / 089-923-0100

SDGs 達成に向けた取組み

「坂の上の雲」のまちを歩こう 24 松山ふるさとウォーク in 久谷 ～遍路の里のおもてなし～



目的・背景

松山市・南海放送主催の「坂の上の雲」のまちを歩こう 24 松山ふるさとウォーク in 久谷 ～遍路の里のおもてなし～へ協賛及び運営参画を行いながら、健康増進のイベント運営と合わせて、ダスキンの社会貢献活動「クリーンアップマイタウン」を実施しました。

具体的な取組内容

■主旨：この「クリーンアップマイタウン」という活動は、ダスキンが平成 18 年から全国で実施させていただいている、身近な街を一緒にキレイにするゴミ拾い活動です。現在まで 33 万人の方々に 16 トン以上のゴミを拾っていただいているもので、今回は県総合運動公園自由広場周辺（遍路の里）ウォークのコース上に落ちていたゴミをウォーキングを楽しみながら参加者の方々に拾っていただく活動です。

日時場所：令和 5 年 11 月 4 日 9:30～15:00

愛媛県総合運動公園自由広場

目 的：健康増進を目的に松山市・南海放送様の主催のもと、伊予銀行様特別協賛、ダスキン協賛して催したイベントです。



成果

結 果：一般参加者数 800 名 収集ゴミ 12Kg
ダスキンスタッフ 15 名

そ の 他：RNB 南海放送（土曜日 16:55～OA）ホット情報内にてダスキンの社会貢献活動の PR の放送あり。

その他の活動

毎月 22 日に JR 松山駅前を 6:30～7:10 まで清掃活動、5～10 人で 40 年継続して行っています。

★ JR 四国様より 感謝状をいただく。

担当者の思い

従業員のご家族（お子さま）との共通会話が生まれ、社会貢献活動の話題でコミュニケーションが取れたとの声を聞きました。また、継続して「ダスキン＝環境衛生の会社」との認識をもってもらえる事の意義が大きいのと考えています。
〈ダスキン椿 総務部 金田 安彦〉

SDGs 達成に向けた取組み

第 1 回かわしん感謝祭開催



目的・背景

新型コロナウイルス感染拡大の長期化により、令和 2 年度以降、当金庫主催イベントの大半や年金受給者向け親睦旅行については止む無く中止としており、本業以外で地域住民との「ふれあい」の機会が減少していました。

そのような中、令和 5 年度に入り、ウィズ・アフターコロナに移行している段階でこれまでのイベント等の見直しを行いました。地域住民とのふれあい機会創出、地元事業者の本業支援、地場産業の活性化、学生を対象とした金融リテラシー向上を図るとともに、親睦旅行に代わる新しいイベント（講演会）を企画し、幅広い年代層に楽しんでいただける「かわしん感謝祭」を開催する運びとなりました。

なお、本イベントは金融教室で市内中学生を対象としていることから、四国中央市が後援となりました。

具体的な取組内容

- 書道家：青柳美扇氏による書道パフォーマンス（オープニングセレモニー）
- 飲食・雑貨マルシェ（室内ブース 14 店、キッチンカー 6 台）、露店（当金庫）
※出店は全て地元事業者としました。
- 金封・水引関連商品販売（伊予水引金封協同組合）
※当初、水引制作体験ワークショップも予定していましたが、講師の都合により中止となりました。
- 海洋ゴミ（シーグラス）を活用したハンドメイドグッズの制作・販売（㈱四国中央テレビ）
- 金融教室（講師：愛媛大学紙産業イノベーションセンター 内村浩美 栄誉教授）
※対象は市内中学生（28 名）としていましたが、当日大人の飛び入り参加もあり、受講者数は計 31 名となりました。参加者には金融に関する冊子（日本銀行より無償提供）等を進呈。
- 落語家：瀧川鯉斗独演会（当金庫年金受給者限定）

- 令和 4 年 8 月 29 日 初回ミーティングを行い、イベントの方針検討
令和 4 年 9 月 8 日 開催日時及び会場、方針決定
各ブースにおける担当配置
令和 4 年 9 月 16 日 全体の方針検討及び各担当ブースに関する調査
事項報告
令和 4 年 10 月 6 日 マルシェ参加事業者へ出店依頼
令和 4 年 10 月 13 日 年金受給者向け講演会講師決定（落語家：瀧川鯉斗）

- 令和 4 年 10 月 24 日 本イベント入場条件設定
ワークショップ及び雑貨販売事業者検討
令和 4 年 11 月 9 日 中学生向け金融教室講師依頼
（愛媛大学紙産業イノベーションセンター 内村浩美 栄誉教授）
令和 4 年 11 月 28 日 イベント会場となる「しこちゅ〜ホール」下見
講演会講師派遣企業との打ち合わせ
令和 4 年 12 月 27 日 イベント入口看板製作依頼
令和 5 年 1 月 10 日 金融教室詳細決定
オープニングセレモニーにおける書道パフォーマンスの依頼（書道家：青柳美扇）
令和 5 年 2 月 21 日 四国中央市役所へ各種案内依頼
（市内中学校への案内文書発送依頼、市報への掲載）
保健所への申請手続き
消防署への申請手続き
当金庫出展ブースの実施内容検討
「しこちゅ〜ホール」との打ち合わせ
開催内容等に関して最終確認、調整
職員担当割の作成、説明会の実施
令和 5 年 4 月 21 日 必要物資の搬入
令和 5 年 5 月 19 日 かわしん感謝祭開催
令和 5 年 5 月 20 日

成果

イベント当日は 1,000 名を超える来場があり、大盛況となりました。書道パフォーマンスの魅力発信、飲食・雑貨関連事業者の認知度向上及び売上への貢献、地場産業（伊予水引・金封）の支援、自然環境に関する意識の醸成、学生（一部大人含む）の金融リテラシーの向上等、本イベントを通じて地域活性化に貢献できたことが成果といえます。

担当者の思い

以前までは SDGs に取り組むことは特別なことのような印象でしたが、現在は SDGs への取組みは当たり前のように変化しているように感じます。誰もが住みやすい環境を作るためには、SDGs への取組みは必須であり、もう一歩進んだ取組みが求められていると感じます。将来のためにも意識を高め、SDGs への取組みに尽力していきたいと思えます。

〈地域産業創生部 一般職 熊野 小都〉



SDGs 達成に向けた取組み

「Seal Demand Gateways」推進



目的・背景

【事業活動の国内・海外展開による環境負荷低減】(9) (12) (17)
ジャスティンが創業来、製造・販売しているパッキン・ガスケットは、プラントの配管の中を流れる気体や液体の漏れを防ぐという役割を担っています。流れている製品や薬品の流出防止で地球環境の保全に貢献。また、環境負荷を軽減する機械装置は国内外で販売しています。

【みんなで幸せになれるジャスティンという環境づくり】(3) (4) (5) (8) (10) (11)

ジャスティンでは女性の活躍、男性の育休取得、有給休暇の取得推進といった働きがいのある職場づくりを会社全体で行っており、ひめボス宣言スーパープレミアム認証取得やくるみん取得につながりました。さらに令和5年より働きがい改革プロジェクトという取組みがスタート。「みんなが主役 『変えたい想い』を共感する」というスローガンのもと、主体をトップから中間層に移し、新体制で取り組んでいます。

具体的な取組内容

【事業活動の国内・海外展開による環境負荷低減】

パッキン・ガスケットをはじめとしたシール材の製造・販売 (通年)

【みんなで幸せになれるジャスティンという環境づくり】

◆働きがい改革プロジェクト

- 令和4年10月：キックオフミーティング
- 令和4年12月：スローガン 決定
- 令和5年1月：1on1 ミーティングの開始
- 令和5年2月：ポスター 決定
県庁主催 合同発表会に参加
- 令和5年3月：ありがとうカード 運用開始



◆ひめボス認証

- 令和5年9月：基本認証
- 令和5年10月：スーパープレミアム認証



◆くるみん認定

- 令和6年2月：くるみん認定

成果

【事業活動の国内・海外展開による環境負荷低減】

シール材の製造・販売を通じて、環境負荷の軽減に貢献。

【みんなで幸せになれるジャスティンという環境づくり】

- 働きがい改革プロジェクトの活動により、社内のコミュニケーションが強化されました。その結果、信頼関係が増し、働きがいを今まで以上に感じながら取り組んでいます。取組みの体制もトップダウンからミドルアップダウンに移行し、会社全体で取り組めているのも成果であると感じております。
- 仕事と家庭の両立を支援すべく、男性育休や女性の活躍推進について、全社会議などで社長から従業員全員に対し、会社の方針を度々話してまいりました。県の認証制度『ひめボス』に申請した所、基本認証と上位認証であるスーパープレミアム認証に認証いただきました。働きがいのある職場が整備されるとともに、社外にも弊社の取組みをPRできました。

担当者の思い

SDGsに積極的に取り組んでいることで、採用活動において弊社への関心が高まっています。また、当社が行うSDGsの取組みを社内で共有することにより、社員のSDGsに対する関心が高まっていると感じています。また、事業を通じてSDGsに貢献しているので、自分の仕事に誇りを感じています。

〈企画室 課長 中谷〉



株式会社建設マネジメント四国 大洲営業所

代表者 / 所長 森本 修三
業 種 / 建設コンサルタント
所在地 / 愛媛県大洲市若宮 427 番地 6
連絡先 / 0893-57-6610

SDGs 達成に向けた取組み

- ・ 大洲喜多剣道優勝大会及び八幡浜レスリング協会へ助成
- ・ 河川敷の植栽会、道路クリーンウォーク、肱川流域一斉清掃に参加
- ・ 電気自動車導入
- ・ ペーパーレス化推進



目的・背景

- ・ 青少年の健全な育成
- ・ 地域活動へのボランティア参加
- ・ エネルギーのクリーン化
- ・ 森林資源の持続可能な管理と活用

具体的な取組内容

- 大洲喜多剣道優勝大会
第 62 回 大洲喜多剣道優勝大会（7 月 16 日開催）の開催費用の一部支援
- 八幡浜レスリング協会
少年参加のレスリング大会（オレンジ杯 10 月開催）の開催費用を一部支援
- 地域活動へのボランティア参加
 - ・ 6/12（月） お花はん植栽会（ひまわり）
 - ・ 8/8（火） 88 クリーンウォーク
 - ・ 10/22（日） 肱川流域一斉清掃
 - ・ 11/15（水） お花はん植栽会（菜の花）

- 電気自動車の導入（令和 5 年 11 月）
- ペーパーレス化
 - ・ 会議におけるタブレット使用による資料の電子化
 - ・ 稟議の電子化

成果

今後、確認予定。

担当者の思い

支援やボランティア参加について、地域の方や開催担当者の方々から感謝の言葉をいただき、会社のイメージアップにつながったと思われる良かったです。今後も微力ながら継続していきたいです。

〈大洲営業所長 森本 修三〉



令和 5 年 11 月 15 日 肱川を美しくするお花はん植栽会

株式会社宝荘ホテル (道後御湯)

代表者 / 代表取締役社長 宮崎 光彦
業 種 / 旅館ホテル
所在地 / 愛媛県松山市道後鷺谷町 2-20
連絡先 / 089-931-7111

SDGs 達成に向けた取組み

持続可能な温泉文化の継承と地域共生への取組み (自然環境に配慮した取組み)



目的・背景

国内を代表する温泉地である「道後温泉」の御湯の恵みを存分に活用しながら将来も継続して温泉街の賑わいを保つため、自然環境への配慮や地域共生を十分に意識した旅館運営（経営）が必要であると考えています。

具体的な取組内容・成果

◇自然環境に配慮した取組みの具体例

- ・宿泊予約客数の増減により道後温泉からの配湯をコントロール（休止・給湯の手続き）しています。（丸1日の給湯休止で約54トンの温泉の節水）
- ・食事は完全予約制。予約時にアレルギーや苦手な食材のヒアリングを徹底することで作り過ぎない、食べ残さないフードロス削減のオペレーションを実行しています。
- ・露天風呂および客室空調は各室個別システム導入によりエネルギーの消費を抑制しています。
- ・館内および外観（外壁）の照明はすべてLED化しています。
- ・全室客室シャワーにウルトラファインバブルヘッドを採用。これにより肌の洗浄・保湿・保温に効果があるとともに、使用水量を従来より50%削減し、節水効果につながっています。
- ・館内すべてのトイレには節水型洗浄機付き便座を導入しています。
- ・宿泊客へ提供するアメニティグッズ（クシ・歯ブラシほか）の脱プラ化を推進しています。プラ以外の製品の採用やプラ成分量の少ないバイオマスシリーズのアメニティを導入しています。
- ・隣接する自社所有建物屋上に太陽光発電パネルを設置して、再生可能エネルギーの有効活用の仕組みを導入しています。
- ・温泉貯湯槽に湯量計を設置（新規設置工事）して、残湯量や使用量をデータ化および数値化することで適正な給湯量を保っています。

（必要以上に給湯、貯湯しない）⇒令和5年10月導入

担当者の思い

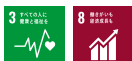
旧ホテル（宝荘ホテル）からの全館建て替えオープンをきっかけにアメニティの脱プラ化や節水シャワー、LED照明の導入や食品ロスへの取組みを始めました。“温泉”という自然からの恩恵を大切に活用しながら、温泉入浴という文化を後世にも継承していきたいと考えております。

〈担当 宮内 紀英〉



SDGs 達成に向けた取組み

ドナー休暇制度の導入



目的・背景

弊社社員がドナーとして骨髄提供したという身近な出来事から、ドナー休暇制度の必要性を感じたことが制度導入の背景にあります。公益財団法人日本骨髄バンクによると、ドナー提供はなかなか思うように進まないことが多いそうです。ドナー候補者として選ばれても、仕事等の都合がつかなかったり、その他の理由で辞退されたりする方が大勢おり、移植を希望しても受けられない患者さんがいるのが現状です。こうした状況を少しでも改善するべく、人命尊重を第一とし、ドナー休暇制度を導入しました。

具体的な取組内容

令和 5 年 10 月 23 日にドナー休暇制度を施行しました。また、ドナー休暇制度の PR 活動を行っている公益財団法人日本骨髄バンクにも制度導入の連絡を行いました。

【ドナー休暇制度とは】

ドナーとして骨髄提供するまでには、10 日程度、医療機関に入通院する必要があり、仕事等の調整をしなければなりません。実際、提供を希望しても仕事等の都合がつかず、提供を諦めるというケースが多く起きています。ドナーが安心して骨髄提供ができるように、特別休暇を付与する制度が“ドナー休暇制度”になります。

成果

制度施行後の骨髄提供の実績はまだありませんが、ドナー休暇制度の導入によって、社員が安心して骨髄提供ができる環境作りができました。また、社員がドナーの現状やドナー登録について知るきっかけにもなりました。

担当者の思い

これまで様々な SDGs に関する取組みを行ってきましたが、SDGs の全ての目標を達成するまでにはまだまだ多種多様な取組みを行っていく必要があります。また、これまでに行った取組みについて継続していくことも大切なことです。今後も少しでも貢献ができるように、小さな事からでも取り組んでいきたいと考えています。

〈財務部 部長代理 内田 悠介〉



SDGs 達成に向けた取組み

愛ロード・愛リバーを通して環境保護活動と文化交流



目的・背景

地域を綺麗にすることで、地域に住んでいる方や道を通る方が住みやすく通りやすい環境づくりをしています。清掃を通して新しく入った社員や技能実習生とのコミュニケーションを図り、自分たちが住んでいる地域を綺麗にするという意識を高め、普段の生活や自国に帰ったあとも環境保護活動を継続してもらうことで、全世界的な SDGs につながると考えて取り組んでいます。

具体的な取組内容

愛ロードは年に 3 回実施を継続しており、1 回目は「道路ふれあい月間」中の令和 5 年 8 月 19 日、2 回目は 11 月 18 日、3 回目は令和 6 年の 4 月 13 日に実施予定となっております。草引きやゴミ拾い、水路の清掃などを中心に行っております。愛リバーは年に 2 回実施を継続しており、1 回目は令和 5 年 7 月 8 日、2 回目は 9 月 9 日に実施しました。地域等での道の清掃に比べて川の清掃が行われていないのか、毎年多くのゴミを拾っています。

その他に、社員寮でのゴミの取扱を徹底し、会社でのゴミ及び現場でのゴミは産業廃棄物として処理して、年に 1 回の市町村への報告を行っております。

成果

生活の中で避けて通ることのできないゴミとの向き合い方や適切な廃棄方法などを、知っている知識に加え、知らなかった知識の確認を改めて行い、それを若い世代や外国人技能実習生に伝えていくことで、教える側も教えられる側も「当たり前」を習慣づけることができたと感じます。

担当者の思い

「継続は力なり」の言葉を胸に、今取り組んでいることを引き続き行っていくことを基盤として、また新たな取組みをプラスしていけたらと思っております。〈総務部 水木〉



SDGs 達成に向けた取組み

自動販売機の設置で様々な支援への取組み



目的・背景

令和 4 年から取組みを開始した、公益財団法人愛媛の森林基金の「緑の募金」及び「子ども食堂支援」を引き続き行っています。こちらは SDGs の 17 の目標の 15 「陸の豊かさを守ろう」及び 2 「飢餓をゼロに」という取組みに一致し、現場事務所及び本社の自動販売機で飲料水を購入しながら募金活動をしています。

具体的な取組内容

この取組みは、ダイドードリンコ株式会社様のご協力のもと、募金機能付き飲料自動販売機（以下、自販機）を設置し、売り上げの 3% を寄附することができるというものです。現場事務所内設置の自販機分の寄附先である公益財団法人愛媛の森林基金の「緑の募金」は広葉樹の植栽などの森林整備や身近な環境の緑化活動、自然愛護活動（緑の少年団の育成）など様々な緑化活動に役立っています。森林づくりをすることで地球温暖化防止にもつながると考えます。こちらの自販機は令和 3 年 7 月から設置を開始しました。また、新居浜市社会福祉協議会に登録をされている 8 つの子ども食堂へ売り上げの 3% を寄附することができる自販機も設置しています。

本社へ設置している自販機は災害救援自販機となっています。普段は通常の自販機として使用しますが、災害等で停電になった際には、自販機内の商品を無料で提供することができる自販機です。災害の発生によりライフラインが寸断されてしまった場合、ライフラインの復旧や支援物資が届くまでの期間、災害救援自販機は一時的に飲料を提供するインフラとしての役割を担うことができます。災害大国である日本にとっては欠かせない設備の 1 つだと考えます。

成果

- ・公益財団法人愛媛の森林基金の「緑の募金」へは、令和 4 年 5 月～令和 5 年 4 月までの 1 年間で ¥63,554 を寄附しました。(昨年比：2.2 倍)
- ・「子ども食堂支援」へは、令和 5 年 1 月～10 月までで ¥24,993 を寄附する予定です。(昨年比：2.1 倍)

※昨年比…昨年の募金金額を該当期間の月数で割って算出



担当者の思い

SDGs 全体を通して見ると大業を成し遂げるような項目ばかりで難しいように感じていましたが、小さなことから実際に何が出来るかを考えて実践してみることが SDGs にとって重要な第一歩であり持続可能な目標だと感じました。

(総務部 村上)

SDGs 達成に向けた取組み

防災・減災等の取組みによる災害に強い地域づくりへの支援



目的・背景

当社は「お客様や地域社会の“いざ”をお守りする」というパーパス（存在意義）を起点に、時代ごとの社会課題解決を自ら探し出し、保険本業を通じてその課題解決に貢献する取組みを行っています。事故や災害から保険を通じてお守りすることだけでなく、防災・減災等を通じて、事故の未然防止や事前の安心のご提供にも取り組んでいます。

特に「未来世代」をステークホルダーとして明確に位置付け、「子どもたちへの教育・啓発」を重点領域として活動しています。各学校で行う出前授業「ぼうさい授業」に過去から継続して取り組んでおり、令和5年は全国的に見ても自転車通学の多い愛媛県の高校生向けに「自転車安全運転教室」も新たに実施しました。

また、持続可能な地域を皆でつくるをテーマに地方創生をカードゲームで考える「SDGs de 地方創生」のカードゲームの開催や、企業様向けの災害対策セミナー開催にも取り組んでいます。

具体的な取組内容

- ・通年で「ぼうさい授業」を愛媛県内の小学校7校で実施。
- ・大学・高校向けに「自転車安全教室」を12校で実施。
- ・「SDGs de 地方創生」カードゲームは松山市・今治市・宇和島市・西条市とも連携し、市の職員向けや市民向け、中高生や当社取引先企業向けに、合わせて9回実施。



- ・今治市役所と連携し、「事業継続力（BCP）作成ワークショップ」を11月に開催。

成果

「ぼうさい授業」では、「地震・津波・水災・土砂災害の発生の仕組みや対応について」や、「備えること・家族と話し合う事の大切さ」の授業を開催。「自転車安全運転教室」では「自転車の安全な乗り方と事故への備え」の講習を実施。SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」、11「住み続けられるまちづくりを」、13「気候変動に具体的な対策を」に貢献しました。

「SDGs de 地方創生」カードゲームでは、SDGsの考え方の理解、カードゲームを通じた地域活性化の方法の体感を通じ、具体的なアクションにつなげることを促進、企業でのSDGs宣言に向けたコンサル支援を実施。「事業継続力（BCP）作成ワークショップ」では中小企業における災害発生時の初動体制構築を支援。SDGs 目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」に貢献しました。

担当者の思い

当社の事業そのものが社会課題の解決であり、“事業を推進すればするほど社会課題の解決につながる、世のため人のためになる”、この思いが使命感となっています。SDGsへの取組みを体感し、またこれらの取組みを継続していくことで、社員ひとりひとりのモチベーション向上につながっています。お客様や地域社会から信頼され、真に必要とされる“Good Company”となることを引き続き目指していきます。〈愛媛支店業務グループ 課長代理 奥谷 歩美〉

株式会社日本有機四国

代表者 / 代表取締役 大石 隆憲
業 種 / 産業廃棄物処理業
所在地 / 愛媛県西条市巨之上乙 303 番地 3
連絡先 / 0898-66-5001

SDGs 達成に向けた取組み

地球規模の課題解消に取り組む「新資源化」



目的・背景

『東予 4 市 1 町と連携推進する新資源化』

当社で取り組む新資源化は、農水省の食料安定供給・農林水産基盤強化本部において食料、農業、農村政策の新たな展開方向、即ち「生産資材の確保・安定供給」が示され、具体的には令和 4 年 9 月 9 日に岸田総理大臣から令和 5 年中に結果を出すよう指示されたのが「下水汚泥の堆肥化」です。

具体的な取組内容

『当社の社会的価値』：地域循環共生圏コア事業者として、産業廃棄物処理で再生された「有機質肥料」を市場提供しています。この市場提供は地球に優しい有機栽培への転換訴求と施用によって得られる「土壌と地下資源の保全」「温暖化防止」「収量増加」に貢献してきました。当社ではこの地球規模の課題解消に資する有機質肥料の市場提供量拡大を指向し、その前提となる受入量拡大を目指した新資源受入理解活動を東予 4 市 1 町の各自治体に展開してきました。(以上、令和 4 年 9 月～令和 5 年 8 月)

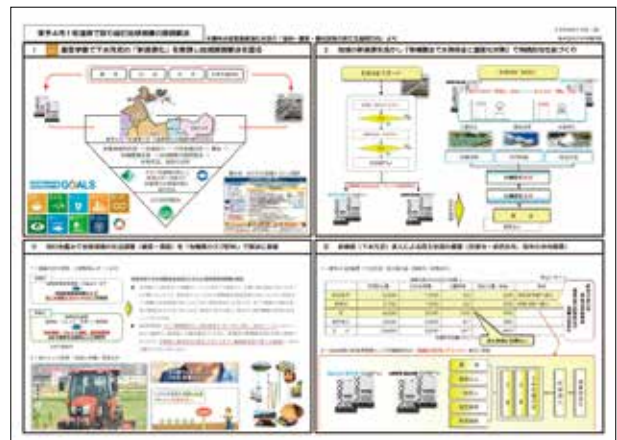
『下水汚泥処理の現状』：東予 4 市 1 町各自治体にヒアリングした結果、下水処理場から排出される下水汚泥の大半はコンクリート骨材や一部埋立処分に供されていました（一部堆肥化もあり）。一方国策の新資源化に取り組む方策も模索されていました。(以上、令和 4 年 11 月～令和 5 年 6 月)

『現在の進捗状況』：新資源化にご賛同賜った自治体は文字通り東予 4 市 1 町のほか東温市の一部も加わり、令和 6 年 4 月からの運用開始に向け粗方ではありますが当社での受託量調整もほぼ済ませ、当社の既存受入廃棄物との適合性確認のため一部自治体の下水汚泥の試行受入と適合性に異常なきの確認も済ませました。(以上、令和 5 年 7 月～令和 5 年 10 月)

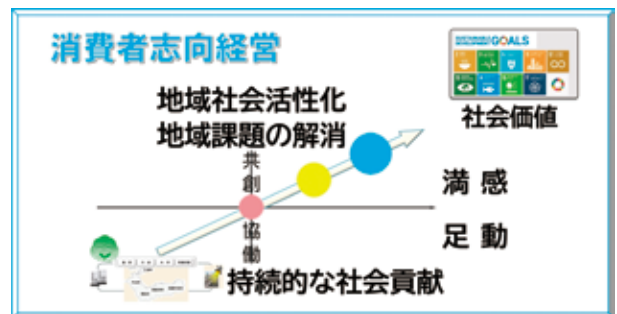


成果

『新資源による有機質肥料化』：各自治体からの廃棄物受入見込量合計は 6,400 トン/年であり、再生される有機質肥料のおよそ 1,000 トン/年が各自治体に還流可能となり、地球規模の課題解消に向け始動します。



『東予 4 市 1 町の共創』：今回の取組みは各自治体の深いご理解により推進可能となったものであり、特筆すべきは新居浜市上下水道局にご先導賜ったことにあり、文字通りの連携が新資源化の共創につながったものです。



担当者の思い

当社の業種は産業廃棄物処理業ですが、地域循環共生圏コア事業者を自負するように至った令和 3 年からは自称「社会価値創造業」、今回の国策導入以降の令和 6 年度から「地域課題解消業」を自称するに至ったことは、SDGs に対する取組みの大きな成果であると考えています。
(参与 小林 榮充)



青木電気工業株式会社

代表者 / 代表取締役 青木 俊雄
業 種 / 建設業（電気工事業）
所在地 / 愛媛県松山市和泉北 2 丁目 14-22
連絡先 / 089-931-1052

SDGs 達成に向けた取組み

男性育休取得促進



目的・背景

女性側に偏りがちな、育児や家事の負担を夫婦で分かち合うことが、女性の継続就業の促進や、企業の働き方改革につながります。急速に進む少子化の時代に、安心して子どもを産み育てるための環境を整えることが大切だと考えました。その一環として、仕事と育児の両立の理解促進に取り組んでいます。

具体的な取組内容

令和 5 年 6 月～ 11 月、愛媛県が主催する全 3 回の「男性育休取得促進セミナー」に参加しました。内容は、男性育休が必要とされる背景と課題、法律、事例などについて学びました。令和 5 年 8 月 30 日に社員全員に対して、男性育休についての研修を行いました。
「誰もが気軽に休暇を取れるような雰囲気が浸透するといい」、「育児休業は家族の絆を強め、社員同士のコミュニケーションの活性化にもなる」などの感想がありました。



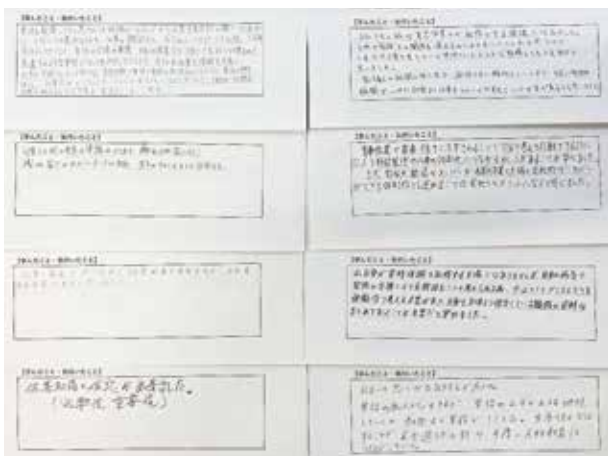
男性育休研修

成果

男性育休を取得することの重要性やメリットに対する理解が深まりました。また、男性育休だけでなく、介護、看護、自身の病気やケガなど、誰もが長期で休む可能性を考え、誰が休んでも困らない柔軟な組織体制づくりが重要であることがわかりました。
業務内容を可視化しておく必要があると考えた社員が業務マニュアルを作成してくれました。これを見れば、誰が業務の担当になったとしても迷わず業務を行うことができます。また、業務が効率的に行えるようになり、生産性が向上します。残業時間削減や完全週休 2 日制への道を開く足掛かりとなり、新人育成にも役立ちます。
男性育休取得促進への取組みは、全ての社員の働きやすさにつながります。これからも人を大切にす No.1 企業として、社員一人一人が安心して働ける環境づくりをしていきます。



業務マニュアル



男性育休アンケート

担当者の思い

17 のゴールと 169 のターゲットが細かく設定されていることで、企業は具体的に取り組みやすいと思います。社内での取組みが地域社会や地球環境に対して、ポジティブな影響を与えることができるように、コツコツと取り組んでいきます。

〈総務部 代表取締役専務 片上 裕佳〉



株式会社ケイ・アール総合企画

代表者 / 代表取締役 田中 典
業 種 / 建設業
所在地 / 愛媛県松山市八反地甲 1682 番地
連絡先 / 089-911-7800

SDGs 達成に向けた取組み

安全・安心な街づくりと地域社会への貢献



目的・背景

建設業を営む企業として、地域社会の信頼と共生の大切さを認識し、環境保全への取組みを積極的に行っています。事業活動を通じて、環境に配慮した施工を行い、社会的責任と社会的貢献を果たす企業を目指しています。

株式会社ケイ・アール総合企画
SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

2021年3月16日
株式会社ケイ・アール総合企画
代表取締役 田中 典

SDGsの達成に向けた取組み

- 豊かで快適な暮らしを**
安全で高品質な施工、企画、設計、アフターサービスの充実にもつとも、生活に欠かせないライフラインの整備を通じて、時代のニーズに沿った環境の街づくりを支えています。
【具体的な取組み】
 - 品質マネジメントシステム「ISO9001」認証取得
 - 「個人情報保護方針」公表
 - 専任員による不当要求防止責任者設置
 - 月替わりの安全目標設定による労災防止の徹底
 - 資材納入時にキャッシュレス決済導入
- 活気に溢れる職場づくり**
徹底した資格取得支援や研修制度により社員一人ひとりの技術力向上を図るとともに、福利厚生面の充実や働きやすい職場環境の整備を通じて、いつも活気に溢れる職場を創造いたします。
【具体的な取組み】
 - 多数の有資格者を生み出す資格取得支援、社内外研修制度
 - 社員旅行などの定例開催
 - ワークコム松山（福利厚生制度）への加入
 - 多様な人材が活躍できる体制構築
 - 積極的な役員費用による組織体制の強化
- 環境対策**
事業活動を通して、地域の水を中心としたインフラ整備を図るとともに、地域環境と深く関連している事業を認識し、環境保全に努め、豊かで快適な職場の実現を目指してまいります。
【具体的な取組み】
 - 環境マネジメントシステム「ISO14001」認証取得
 - 水害インフラの整備（古い下水道の耐震化など）
 - 廃棄物の削減、再資源化の推進
- 地域貢献**
地元での人材採用や、地域行事・ボランティアなどの地域貢献、社会貢献活動への積極的な参加を通じて、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。
【具体的な取組み】
 - 「えひめ建設業BCP」認証取得 ・地元人材の積極採用
 - えひめジョブチャレンジJ-15事業を通じた地元中学生の職場体験導入 ・地元学生の職場体験導入
 - 「愛リバー・サポーター制度」や「愛ロード」による地域美化清掃への参加 ・献血活動への参加
 - 消防団協力事業等 ・防犯士、救急隊員士の資格取得支援
 - 災害時登録機械の所有（災害時の地域復興支援）

SDGsとは
SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。

廃棄物に対する取組みも積極的に行っている取組みの1つです。社内にポスターを掲示し、ゴミの分別を徹底しています。また、松山市に産廃報告書を提出したり、有害化学物質使用時には、毎月実施している安全会議にて報告したりして、取扱い等周知徹底しています。



令和5年10月 愛リバー・サポーター活動（着工前、施工状況、完成）

具体的な取組内容

愛リバー・サポーター活動として、河川の清掃美化活動を実施しました。

活動日：令和5年3月16日、令和5年6月16日、令和5年10月12日（計3回）

えひめ愛ロードサポーター活動として、道路の美化活動を実施しました。

活動日：令和4年11月11日、令和5年3月3日（計2回）

地域社会の一員であることを自覚し、愛媛の街づくりを支えています。

また、「ISO9001 認証」「ISO14001 認証」といった品質や環境に関する国際規格認証を取得しています。製品・サービスの安全性確保や品質保証のための仕組みを構築し、地球環境保全に貢献することを目指しています。

成果

ISO9001（認証番号：JP25023-Q-2）、ISO14001（認証番号：JP25023-E-2）を取得しました。

担当者の思い

一時的ではなく、日常的に活動を実施することで、社員一人一人のSDGsに対する意識の変化が目に見えて分かりました。現在では、意識することなく自らが進んでゴミの分別や清掃活動を実施できており、職場環境が清潔に保たれていることで、快適に仕事をすることができています。

株式会社ホーム設備

代表者 / 代表取締役 門田 勲
業 種 / 管工事業
所在地 / 愛媛県松山市余戸中 2 丁目 2 番 1 号
連絡先 / 089-973-6895

SDGs 達成に向けた取組み

外国人労働雇用への取組み



目的・背景

国際社会との調和ある発展を図り、技能、技術又は知識を開発途上国等へ移転し、開発途上国等の経済発展を担う「人づくり」に協力することを目的としています。また、自社においても人材を教育することによる技術の定着、次世代への技術の継承に寄与します。

具体的な取組内容

第 1 期技能実習生受入れ

期間：令和 6 年 4 月～令和 9 年 2 月

ベトナム人技能実習生 2 名

弊社技術員の指導により

水道施設工事及び管工事の先進的技術を移転します。

成果

ベトナムに訪問し、受け入れ予定の技能実習生と面談及びご家族との面会を行いました。

初めての試みのため、従業員も当初は戸惑いがありましたが、全社をあげてプロジェクトに取り組む姿勢となり、結束力が一段と高まりました。

(本格始動は令和 6 年 4 月から)

担当者の思い

弊社の様々な取組みが SDGs につながっており、結果的に従業員の満足度向上や人材教育につながっているため、今後も持続可能な取組みを推し進めていきたい。

〈総務 門田 紗矢香〉



SDGs 達成に向けた取組み

インフラ保全工事を通じて環境配慮と地域社会とのつながり



目的・背景

過疎化・高齢化の進む地域でのインフラ保全工事を通じて、地域・町内行事活動での人手不足問題に対し少しでもお手伝いする事で、助け合いの輪を広げたい。

また、インフラ保全工事では環境配慮型プラスト工法によるクリーンな環境維持をテーマに産業廃棄物の削減・環境配慮・リサイクルに取り組んでいます。

具体的な取組内容

令和 5 年 3 月竣工の高知県の町仁淀川橋塗替え工事の施工にあたり、工事開始前の地域関係各所へのごあいさつ回りの際、町内会の方々とお話する機会があり、お話の中で工事現場周辺での過疎化・高齢化による人手不足などのお話を受けました。少しでもお役に立てることがないか町内会の方々とお話させていただき、6月と10月に行われる河川草刈り行事と、年末

に行われる町内餅つき大会へ参加させていただき、感謝状をいただきました。また、インフラ保全工事では令和4年度に引き続き環境配慮型プラスト工法による施工で研削材リサイクル・産業廃棄物の大幅削減・環境配慮を掲げ、現在、宇和島市津島町で施行しています。

成果

6月と10月の草刈り、12月の餅つき大会をお手伝いさせていただきましたが、やはり町内参加者の方々が高齢の方が多く、毎年の力仕事は大変そうで少しでもお役に立てて良かったと感じました。

インフラ保全工事を通じて、単に工事をするだけでなく、やはり地域社会とのつながりを大切に、今回のような活動を続けて行くことが大切だと感じました。



SDGs 達成に向けた取組み

住宅の長寿命化に取り組み、健康快適で資産価値が下がらない住宅を 一棟でも多く残す



目的・背景

これまで日本の住宅業界が行ってきた家づくりは住宅性能を無視した「スクラップ＆ビルド」の考え方でした。私共はここ 20 年近く包摂的で安全かつレジリエントで持続可能な都市造りを目指し、人間居住に重点を置き、家づくりのプロとしてお客様ご家族を守る住まいを造っています。万が一の地震でも住まいが一番安全であり、警察署や消防署と同じレベルの「耐震等級 3」+「制震構造」を全棟で採用し、地震で倒壊しない様な強い住宅を提供しています。また太陽光発電を搭載することで、災害時に一定量の電力供給が可能となります。私共のお客様においては、100%の搭載率を目標としています。

具体的な取組内容

【着工前の流れ】

・(初回面談) これからの家づくりで大切なこと・省エネ住宅を建てるメリットや SDGs に取り組む理由を必ずお伝えしております。

【着工 1 週間～2 週間】

・(配筋検査) 様々な工程の中でも配筋検査は、特に重要な部分で、鉄筋の種類・間隔・大きさが設計図書通りにしているのか検査をします。コンクリート打設前に行うことで建物の安全性や耐久性を担保します。

【着工 1～1.5ヶ月】

・(躯体検査・防水検査) 上棟を行い、屋根、床、壁、サッシなどが設置されると一気に家らしくなります。そこで躯体検査や防水検査を行います。躯体検査では建物の配置や高さ、柱の大きさや位置、梁の大きさや取付ボルトの緩み、構造接合金物の取付けや緩み、面材を留めている釘の間隔等隅々まで検査し、合格してから次工程に進みます。

【着工 1.5～2ヶ月】

・(断熱) 弊社の家づくりと言えば高气密・高断熱住宅です。そこで断熱の工程では断熱材に拘るだけではなく、壁に隙間が無いか確認しながら隙間を充填します。その後、専用の機械を使い気密検査を行います。家全体でどのくらいの隙間があるのか測る検査で、一般的に高气密住宅なら 1cm³/m³を切るレベルを目指したいと言われております。令和 4 年 11 月以降の弊社最高記録は C 値 0.07cm³/m³でした。



気密検査

【着工 4～5ヶ月】

・(完了検査) お引渡し前には完了検査を行います。設備や敷地など関連する法令に適合しているか、不具合が生じていないかなど検査をします。

< ヒロ建設工業と SDGs の関係性について >

③すべての人に健康と福祉を

外気温に左右されず室内の温度差が少ない家にするために大切なのが断熱・気密性能です。断熱気密性能を高めることで、ヒートショックなどの健康被害を防ぐことができます。

⑦エネルギーをみんなに そしてクリーンに

太陽光搭載や、エアコン使用量を減らし、1 年を通して快適に過ごせる家を建てることで化石燃料の消費削減と CO₂ 排出量の低減につながります。

⑩住み続けられるまちづくりを

住宅は自然災害に耐えられる耐久性が必要です。災害が起こった時、数日間間は自活できるよう、太陽光発電や蓄電システムの導入をお施主様にお願ひしています。

⑫つくる責任 つかう責任

私たちに次世代まで住み続けられる家を建てる責任があります。一番大切なのは初期費用はかかっても、環境の負荷が少ない材料を使用することです。

⑩気候変動に具体的な対策を

住宅の省エネを考える時に「パッシブデザイン設計手法」は必須です。また、創エネ設備も積極的に提案しています。

⑮陸の豊かさも守ろう

木造住宅には木材が不可欠です。地産地消の考えの元、伐採後は新たな木を植えてもらい、その木が大きくなる間は、造ったものを大切に使う。そういった循環を意識した使い方をすることで、大切な木材を正しく使い、次世代への森林資源を育てることに取り組んでいます。

成果

住み続けられるまちづくりのために当社では高性能住宅に取り組み、お客様には快適→健康→幸せになっていただいております。全棟ゼロエネルギー住宅(太陽光搭載)です。生活していただく中で温度・湿度・太陽光の発電量、使用電力量などを全棟測定し、測定した上でお客様に住み心地のアンケートをお願いしています。問題などある場合にはお客様と一緒に改善に取り組んでいます。測定したデータ、アンケートは国や大学へ提供し、研究データとして活用していただいております。

自分たちが生活している温度・湿度・電力量などを把握していただくことで SDGs に対して興味をもっていただけるのではないかと思います。

一人でも多くの方々に幸せを届けることが SDGs の目標達成に必要なと思います。そのために私たちはこれからも幸せを届け続けたいと思います。



測定モニター (おんどとり)

担当者の思い

SDGs に取り組もうと思った理由は、弊社が生業としている仕事の中で何ができるか考えた時、住宅を高性能化することにより、二酸化炭素の排出量を少なくすることができる上にそこに住む人が健康的な生活を送ることができるのを知り、一番我々にとって実効性があるものと思ったからです。

「住まい」からの CO₂ 排出の割合は、暖房が約 2 割、給湯が約 2 割、照明・家電製品が約 5 割を占めており、その 1/4 は冷暖房によるものと言われています。ですから冷暖房の省エネルギー対策を行うことは「住まい」の CO₂ 削減のために極めて重要だと考えています。

「建物を高性能化することで、年間の冷暖房エネルギー消費量を大きく削減します。」

〈代表取締役 松岡 弘〉



SDGs 達成に向けた取組み

地域と一体になった 加茂川地区の環境保全活動



目的・背景

建設業に携わる事業所として、地域貢献や河川環境維持を目的とし、平成 21 年より現在まで愛媛県西条市加茂川地区において、加茂川の堤防沿いの草刈りやごみ分別収集を年 3 回（毎回 10 名以上の社員が参加）実施して環境美化活動に貢献しています。

具体的な取組内容

令和 5 年 5 月 20 日、9 月 30 日と年間 2 回愛リバー活動を実施しました。12 月 16 日に 3 回目の実施を計画しています（令和 5 年 11 月時点）。愛リバー・サポーターとして、河川環境維持活動を 10 年間継続して行い、愛媛県西条市加茂川地区の堤防河川敷の環境美化に貢献したことで、令和元年 12 月 18 日に愛媛県知事より感謝状が贈呈されました。また、地域への貢献が評価され、平成 23 年 7 月には加茂町自治会長より感謝状が贈呈されました。主に環境美化活動の取組みであります。草刈りやごみ分別収集を定期的に行うことにより、地域住民が安全で快適な生活をおくれる社会づくりにも貢献しています。また、経済面では、観光客に気持ちよく西条祭りを楽しんでもらい、西条市により多くの観光客が来ていただけるようにと願いを込めて取り組んでいます。

成果

愛リバー・サポーター活動を続けていく中で、作業中に近隣住民からの感謝の言葉が増え、夏季には冷たい飲み物も提供していただけるようになり、営業所にお礼を言いに来てくれる方も増えてきました。また、毎年 10 月中旬には、愛媛県を代表する一大行事の“西条祭り”が行われており、加茂川堤防沿いは西条祭りの散策コースとなっています。当該活動地区の環境美化活動を通じて地域の方々や観光客に気持ちよく西条祭りを楽しんでもらいたい思いがあり、地域の加茂町自治会と連携して環境美化活動を行っています。



SDGs 達成に向けた取組み

“建設現場発”カーボン・オフセットを通じた 持続可能な開発目標 (SDGs) への取組み



目的・背景

株式会社山全は、一般土木工事・特殊工事・建築工事など、幅広く建設工事を手掛けている総合建設業です。ISO14001 を取得し“自然とのバランスを保ち、未来へ夢を育む”をコンセプトに、自然環境とのバランスを考えた工事の施工を提案しながら CO₂ 削減に重点を置いた環境配慮経営に取り組んでいます。具体的な取組みとして、ハイブリッド重機の積極的な活用や、山間部の工事現場から切り出された地元産の間伐材をログハウスとして有効活用した“らく〜だハウス”の開発、さらには、工事現場で使用した重機から排出された二酸化炭素の排出枠を購入するカーボン・オフセットの実施等を行ってきました。

具体的な取組内容

弊社愛媛営業所として、ひめボス事業所 plus⁺ 認定取得や愛媛県 SDGs 推進企業登録、2050 年脱炭素社会・アクション宣言登録を行い、幅広い観点から SDGs 達成に向けて取り組んでいます。最近の取組みとして、独立行政法人水資源機構池田総合管理所発注工事の「富郷ダム瀬井野地区地下水排除工外工事」で集水ポーリング施工時における主要機械（クローラクレーン）から排出された二酸化炭素の排出枠を購入し、CO₂ カーボン・オフセットを実施しました。（令和 5 年 11 月 9 日）



成果

間伐材を有効活用した現場ハウスと工事看板の使用、ハイブリッド重機の積極的な活用とカーボン・オフセットの組み合わせなどにより、建設工事現場で発生する CO₂ 排出量を実質ゼロとしています。

担当者の思い

弊社は主に災害復旧工事や災害対策工事を請け負っており、自然環境の変化による山間部の災害現場を数多く見てきました。私自身も防災士として、後世の人々が安心して暮らせる環境づくりのために、一人ひとりが始められる持続可能な取組みを伝えていきたいと思っています。
〈SDGs 推進室 室長 猪森 淳〉



SDGs 達成に向けた取組み

みずほ金融スクール ～職場体験学習・金融経済教育～



目的・背景

〈みずほ〉は、「金融経済教育」を「サステナビリティ重点項目」の一つとして取り組んでいます。「金融経済教育」に関する社会的ニーズを踏まえ、総合金融サービスの提供を通じて培ってきた金融に関する幅広い実務知識やノウハウを生かして行うことができる社会貢献活動として、金融経済教育の取組みを継続的に推進しています。今回みずほグループ共同開催で中学校の生徒さんを対象とした職場体験学習・金融経済教育を実施しました。

具体的な取組内容

9月12日（火）から9月15日（金）までの4日間、1日に7、8名の中学生の生徒さん達にみずほ銀行に来店していただき、職場体験学習・金融経済教育をグループ共同で開催しました。講義では、みずほグループの紹介、「金融」とはなに？から金融授業がはじまり、銀行・信託・証券ってなにしているの？からみずほグループ各社の役割や仕事の内容を紹介し、金融知識を深めました。次に投資ってなんだろう？株式ってどうやって買うんだろう？株価ってどうやってみるの？といった質問に、実際に照会端末を操作してもらって、自分が知っている会社名を入力してもらいながら、株式を買付するまでの流れを体験してもらいました。

職場体験では、名刺交換による自己紹介からはじまり、店頭ロビー体験、お札の数え方、銀行の金庫内を見学し、普段外側からしか見ていない銀行内の裏側に潜入していただき、銀行と証券の職場を深く知ってもらう大変良い機会となりました。

成果

若いうちから金融の仕組みについての理解を深め、複雑化・グローバル化する社会環境にいち早く順応していくために、早いうちから金融経済教育に触れることは大変重要なこととなります。今回参加していただいた中学校の生徒さん達は大変熱心な話を聞いていただきました。特に株価照会端末を触る実技では、自ら企業名を検索して新しいことを知ろうとする探求心や株主優待はどのようなものがあるか等、投資家としての一歩を踏み出したような感じでした。最後に生徒さん達から、「証券会社を初めて知ったけど面白いね」などのお声をいただき、職場体験を通して新しい発見をしてもらうことができたと感じております。

担当者の思い

幅広い世代の金融リテラシー向上を支援すべく、今回、地域の皆さまのニーズに応じた金融経済教育の取組みをみずほグループ共同で開催しました。今までグループとして長年、金融経済教育に取り組んでおり、現在はSDGs、サステナビリティ重点項目の一つとして経営計画の中に組み込んで金融経済教育のご支援をさせていただいています。今回の職場体験学習で、中学校の生徒さん達が、金融の知識や仕組みに触れて、新しい知識を学ぶこと、体験することに対して『好奇心』や『楽しさ』を感じてくれたことは大変喜ばしいことであり、将来の職業としての興味や金融リテラシー向上のきっかけとなっただけであれば幸いです。〈みずほ証券株式会社松山支店 支店長 横江 拓也〉

コンフォートホテル松山 (株式会社グリーンズ)

代表者 / 株式会社グリーンズ 代表取締役社長 村木 雄哉
業 種 / ホテル業
所在地 / 三重県四日市市浜田町 5-3
連絡先 / 059-351-5593

SDGs 達成に向けた取組み

観光地でアクティブに楽しむ、街歩き旅



目的・背景

当社のホテルに宿泊していただくことで、「運動」「食事」「睡眠」の視点から、健康になっていただく、健康を意識していただくきっかけを提供したい。今回は「運動」に関する取組みです。

具体的な取組内容

【内容】

コンフォートホテル松山に宿泊されたお客様に、ホテルから周辺の観光地まで歩いていただくことで、運動の習慣を促す企画を実施します。

「歩くことが楽しくなる」仕掛けとして、テーマとして設定した観光地まで往復 6,000 歩以上歩いていただくことに加えて、観光地の写真をフロントで提示していただくことで、特典をプレゼントします。

【実施時期】

- ①令和 6 年 1 月 15 日～ 2 月 29 日 (予定)
- ②令和 6 年 3 月 11 日～ 4 月 26 日 (予定)
- ③令和 6 年 5 月 13 日～ 6 月 30 日 (予定)
- ④令和 6 年 10 月 7 日～ 11 月 30 日 (予定)

【テーマ】

- ①城めぐり
※松山城・城址公園など、今回の観光地は「城」がテーマ。
四季でテーマを変えていきます。
- ②桜 (予定)
- ③寺・神社 (予定)
- ④紅葉 (予定)

成果

お客様に健康づくりのための運動の習慣化を促しました。



担当者の思い

SDGs の取組みを推進するにあたっては、社内への SDGs の浸透・理解や、パートナーシップが不可欠です。パートナーシップを強化して取組みを推進していきたいと考えています。また、当社が SDGs の取組みを発信することで、SDGs に興味を持っていただき、多くの方が自分のできることを取り組んでくれるように、今後も活動の推進と発信を継続していきます。

〈株式会社グリーンズ 総務課 課長 奥村 陽子〉

SDGs 達成に向けた取組み

「持続可能な農業」の実現に向けて



目的・背景

経営理念：「革新的な農業経営で、最良のウェルビーイングを追求し、たくさんの喜びと新しい価値を創造する」
当社は「持続可能な農業」の実現に向けて、農業の国際規格であるグローバル GAP 認証の維持更新に取り組んでおります。社員一人一人が、お客様・取引先・社員とその家族、および地域と農業界に喜んでいただけるように取り組み、SDGs の実現を目指してまいります。

具体的な取組内容

1. 食品安全・環境保全・労働安全に基づく、品質の良いみかんを安定して栽培・グローバル GAP 認証の毎年更新を継続する
2. 農業機械の電動化を推進し石油燃料を 80%削減するため電動の草刈り機・背負い動噴・耕運機・チェーンソーを導入、ドローンによる農薬散布開始
3. 地元企業と連携して地元の食材を利用した商品開発、および販売を推進・商品数の拡大 (26 点 → 100 点) 商品数：30 点 7 次産業化の新商品開発

成果

1. 更新済
2. 農業機械の電動化を推進し石油燃料を 80%削減するため電動の草刈り機・背負い動噴・耕運機・チェーンソーを導入、ドローンによる農薬散布開始、請負散布も実施済
3. 地元企業と連携して地元の食材を利用した商品開発、および販売を推進・商品数の拡大 (26 点 → 34 点) 7 次産業化の新商品として、塩みかんの鯛カレーを開発

担当者の思い

今後も継続して取り組んでまいります。

〈代表取締役 宮本 泰邦〉



SDGs 達成に向けた取組み

SDGs 視点による地域活性化への取組み



目的・背景

当社は経営理念である「便利で豊かな生活の創造」をもとに、SDGs 活動に取り組んでいます。その理念を実現するために、令和 4 年より社内での SDGs 活動をおこなっていましたが、いつか社外の方達と協力した活動もおこないたいと思っていました。今回、その機会を得ることができ、西条市 SDGs 推進協議会様主催の地域イベントへ参加しました。今後もこのような活動を通して、持続可能な街づくりを進めることを最終目的に取り組んでいます。

具体的な取組内容

西条市救急フェアへの参加

令和 5 年 8 月 27 日に西条市 SDGs 推進協議会様主催で開催された、「西条市救急フェア」に参加しました。当日は、会場である SAIJO BASE の 3 階によいとさ保健室の方と一緒にブースを設けて当社製品である物置を展示し、その中に(株)大屋様からお借りした防災グッズの展示をおこないました。また、鉄を折り曲げて作る棚、「折り鉄棚」を 60 セットほど持ち込み、ワークショップもおこないました。

成果

救急フェアということで、当日は西条市消防署の協力による救急車の展示の他、地元の商店やキッチンカーの出店もあり、会場は多くの人で賑わっていました。当社が用意した折り鉄棚は、大好評のもと午後の早い時間で全て無くなりました。途中、顔を出しに寄ってくれた社員の方達も手伝ってくれたり、お子さんと折り鉄棚を作ってもらったりと、私達も楽しく参加することができました。展示していた収納庫への問い合わせ等もあり、当社の宣伝もできつつ、地域貢献の一助にもなったと思っております。また機会があれば参加を予定しております。

担当者の思い

社員全員で取り組みたいとの思いから、当社では令和 4 年より社内でも SDGs 推進室を新設し、さまざまな部署からメンバーを集め活動してきました。今までは環境負荷の低減や節水への取り組み、清掃活動、献血活動といった社内の活動がメインでしたが、今年初めて社外での活動に挑戦することができました。今回の活動は、地域への貢献だけでなく自社の宣伝もすることができ、当社にとってとてもメリットのある活動だったと思っています。今後もこういった地域活性化への取り組みをおこない、目標達成を目指していきたいと思っています。

〈経営企画室 係長補 川瀬 弥生〉



「西条市救急フェア」での展示の様子



ワークショップの様子

- ①西日本電信電話株式会社 四国支店
- ② NTTビジネスソリューションズ株式会社 愛媛ビジネス営業部
- ③株式会社 NTT フィールドテクノ 愛媛設備部

代表者 / ①四国支店長 立石 篤志
 ②愛媛ビジネス営業部長 中山 敦広
 ③愛媛設備部長 加藤 信二
 業 種 / ①③電気通信業、その他附帯業務等
 ②ビジネスユーザーに対する情報通信システム
 の提案、構築、サポート等業務
 所在地 / ①②愛媛県松山市一番町 4 丁目 3 番地
 ③愛媛県松山市南江戸町 1283-1
 連絡先 / ①② 089-936-2846
 ③ 089-909-6173

SDGs 達成に向けた取組み

NTT 環境クリーン作戦 2023 in 愛媛



目的・背景

「NTT 環境クリーン作戦」は、豊かな地球環境を守っていくため、社員一人ひとりによる環境保全活動・生物多様性保全活動として NTT 西日本グループが展開する「みどりいっぱいプロジェクト」の一環として取り組んでいます。

具体的な取組内容

近年の熱波や豪雨等の気候変動問題をはじめとした環境課題解決への貢献に向け、NTT グループでは 2040 年までにカーボンニュートラルの実現をめざしています。その取組みの一環として、令和 5 年 12 月 16 日（土）に、愛媛エリアの NTT グループ各社の社員や退職者約 260 名により、落ち葉集めをメインとしたボランティア清掃を道後公園で実施しました。

回収した落ち葉はゴミとして処分するのではなく、「落ち葉囲い」という専用スペースで落ち葉を腐葉土にして森に還元することで、二酸化炭素排出量を削減し道後公園の自然を保護する活動「みどりいっぱいプロジェクト」として、道後公園の環境保全に貢献しています。

※令和 4 年 12 月 10 日（土）も実施（参加者数 219 名）

成果

今回で 29 回目の「NTT 環境クリーン作戦 2023 in 愛媛」の活動では、道後公園の環境保全への貢献に加え、社員一人ひとりが環境問題に対して自分たちに何ができるかなど考える機会となりました。

担当者の思い

サステナビリティの実現、SDGs 達成に向けては、企業の取組みが必要不可欠であり、企業の取組みは、ともに働く仲間の協力があってこそ実現するものです。今回の取組みでは、250 名を超える方に賛同いただきましたが、今後もさらなる仲間づくりに向けた意識醸成・理解促進に努め、NTT 西日本グループとして、SDGs 達成に向けてさらに貢献していきたいと思います。

〈西日本電信電話株式会社四国支店・
 NTT ビジネスソリューションズ株式会社愛媛ビジネス営業部
 事業推進担当 課長 三好 靖人〉

担当者の思い

SDGs 達成に向けて企業として取り組むためには、企業に勤める社員一人一人の理解促進、意識の醸成が必要だと考えます。

この取組みを通じて、一人でも多くの方が環境保全への貢献を実感することにより、今後、SDGs 達成に向けて取り組むきっかけとなり、さらには NTT 西日本グループとしても SDGs 達成に向けて貢献していきたいと思います。

〈株式会社 NTT フィールドテクノ愛媛設備部
 総括担当 課長 高瀬 友彬〉



SDGs 達成に向けた取組み

① 園庭を食べられる庭だけではなく、着られる庭にも。② 紙を遊ぶ。



目的・背景

【目的】

「持続可能な社会の実現に向けて、子どもたちの心を育てる」です。令和5年度は、特に「子どもの身近なモノを作ってみて、大切に使う」という心や作ってくれた人へ感謝の心を育てる。」を目的に取り組みました。

【背景】

令和5年3月のエディブルガーデンについての園内研修の時、保育士から「令和5年度は、綿花を育てたい。藍染をしてみたい。」という希望が出されたことから、園庭で「食」だけでなく、「衣」についても考えてみようということになりました。また、連携している愛媛大学の先生より、学会で使用するネームプレートの作成を依頼されたことから、児童クラブの子どもたちが廃材を利用して試行錯誤して紙でネームプレートを作成するなどしました。

具体的な取組内容

【工】エディブルガーデン 【紙】紙作り

【草】草木染め 【他】その他

令和5年1月

○小林修先生

3月

【工】笠松・島上先生 園内研修「エディブルガーデンについて」

4・5月

【工】【草】綿花と藍の種を蒔く。トマト、ピーマン、トウモロコシ、バジル、イタリアンパセリ、アスパラガス、スイカ、メロン、キュウリの種を蒔き、苗を育てる。

【工】ジャガイモを植える。

6月

【工】さくらバザーで苗を安価で販売。子どもたちのSDGs活動について展示・説明

7月

【紙】ヨモギ・アサガオ・カボチャの花・トマトの皮等を牛乳パックの紙に練りこみ、紙の試作を開始

8月

【草】綿を収穫・藍の葉を収穫

【工】夏野菜を収穫

【工】収穫したナス・ピーマン・ジャガイモ・トマト・バジルをトッピングしてピザを作って食べる。

【工】パズルやイタリアンパセリは、保護者に自由に採ってくださると伝える。

【紙】手漉きの紙をはがきにして家族に気持ちを伝えたり、夏まつりでスーパーボールすくい紙をこぼろを入れて漉いた紙でしてみたりする。

【紙】紙について「えひめ洋紙」の社長をお招きし、「紙について知ってる?」と題してお話を開催

9・10月

【紙】紙漉きをする（ミカンの皮・ミカンの葉・ナツメヤシの葉）。

【他】伊予農業高校の果樹園でミカンの収穫作業

11月

【紙】紙漉きをする（オリーブの葉・クスの落ち葉・ビワの葉）。ネームプレートに加工し、1日試しに付けて耐久性を調べる。

【紙】ネームプレートは学会で使用され、優しい風合いと色で好評であった。

【草】4歳児クラスでタマネギの皮・ミカンの皮・ビワの葉でTシャツを染める。

12月

【紙】残りの紙で小物を製作、SDGsクリスマスマーケットで販売

【草】草木染めのTシャツをクリスマス発表会の劇遊びの衣装にする。



【紙漉きについて】

ネームプレートを何で作るか。紙かプラスチックか。

夏休みには、アイスクリームの入れ物で時計盤を作ろうとして、うまくいかなかったので、園にたくさんある牛乳パックの紙に、給食室から出る野菜や果物の皮、園庭で育てている木や野菜やハーブの中で、子どもたちが入れたいものを入れて紙漉きをして、ネームプレートを作ることになりました。

7月から11月まで、やりたいときにやりたい子どもが漉き続け、11月には約300枚のネームプレートができ上がりました。

牛乳パックや野菜や木の葉や果物の皮のアップサイクルになり、充実感を子どもたちと共有できました。

残った紙で、コサージュや手漉き紙のランプシェードを作り、SDGsクリスマスマーケットに出店しました。SDGsに関わる大人や学生と交流が持て、子どもたちにとってかけがえのない経験になりました。



ミキサーにニンジンの皮と牛乳パックの紙と水を投入



ランプシェードとコサージュ

【ミカンの収穫作業】

年長組の子どもたちと伊予農業高校の伊予灘を望む果樹園でミカンの収穫をしました。美しい空のもと、高校生に寄り添われ、ミカンを収穫している姿、子どもたちの幸せそうな、真剣な表情。「おいしい、おいしい!」と言ってミカンをほおぼる顔。これが私たちの目指すウェルビーイングだと思いました。



ミカンの収穫作業の様子

【成果】

子どもたちや保育者が色々発見したり、五感で感じたりできたことです。イタリアンパセリにはキアゲハの幼虫が、ミカンにはアゲハの幼虫、綿花にはハマキムシがつき、チョウセンカマキリが何日間も綿花を守っていたこと。藍とアスパラガスにはムシがつかなかったことに気づきました。

紙漉きや草木染めでは、いい匂いや変な匂いがするものがあることなど、子どもたちが見て、匂って、触れて、感じて、五感を働かせることができたことが成果でした。綿花には種がたくさん入っていること、種を取るのは大変なことも体験しました。また、服を作るのにどんなに手間がかかっているか伝えることができました。



キアゲハのさなぎ



チョウセンカマキリ

担当者の思い

SDGsに取り組む仲間との情報交換により、取り組む新たなことが見つかったり意欲が生まれたりしました。遊びの中で子どもたちと楽しく取り組むことができました。
〈園長 桑波田 みか〉

SDGs 達成に向けた取組み

出前事業で農業の魅力を発信



目的・背景

農業に興味関心を持っていただくため、ともに活動する農業女子のメンバーと小学校で授業を開催しました。

具体的な取組内容

令和 5 年 10 月 23 日に伊方小学校にて、農業の魅力発信授業を開催。柑橘ができるまでの工程や生産者がどのような思いで柑橘栽培に取り組んでいるかなどを 3 年生に伝えました。

成果

「将来柑橘栽培に関わりたいか？」という質問に対して、授業開始時には 0 人でしたが、授業終了時には 10 人の児童が「将来の職業として農家に興味があった」と答えました。

担当者の思い

次世代を担う子どもたちに、農業の魅力を発信できてよかったと思います。
〈代表取締役 土居 裕子〉



出前事業（やわたはま休日クラブ）



農業の魅力発信授業（伊方小学校）

重松兄弟設備株式会社

代表者 / 代表取締役 清水 盛士郎
業 種 / 管工事業
所在地 / 愛媛県松山市谷町甲 78 番地 1
連絡先 / 089-978-2011

SDGs 達成に向けた取組み

安全で快適な職場づくり



目的・背景

建設業という業界がら、どうしても男性社員の割合が多くなっていますが、女性の労働力を十分に活用できるよう、女性の積極採用・活躍促進に注力しました。またダイバーシティへの取組みが社会的にも強化されているので、一人ひとりの能力や考え方などの個性を活かして、女性が「働きたい」と思える環境づくりに取り組んでいます。

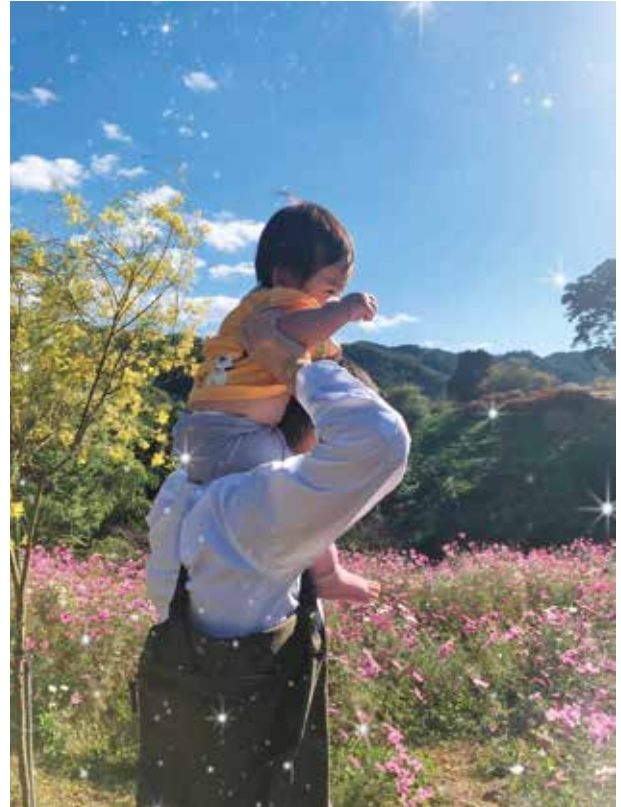


具体的な取組内容

- ①子育てしている社員・親の介護をしている社員を対象に令和5年4月より、育児・介護休業等に関する協定を改定し、休みを取得しやすい環境をつくりました。
社内ネットワークにて対象者を中心に周知・通達を促し、制度の活用を広めました。
- ②仕事と家庭の両立を支援するだけでなく、さらに女性が活躍できる場を拡げる取組みとして女性活躍促進法に基づく行動計画を策定し、女性現場作業員の増員を採用活動に盛り込み、求職者にPRしています。
女性活躍および仕事と家庭生活等の両立に取り組む「ひめボス宣言事業所」に令和5年11月9日に認定されました。

成果

今回の社内規則の改定により、今まで実績のなかった育児休業取得者が初めて1名になり、社内でも育児休業が取得できることが周知できました。また、育児・介護目的休暇を設けることで子どものイベント行事や病院の付き添い等、対象者の休暇取得利用が増加しました。
女性現場作業員に興味を持ってもらうため、当該社員を求人広告に掲載し、新規学卒者へのアピールを行っています。



担当者の思い

国の法改正だけでなく、社内の独自規定を設けることで従業員の仕事ぶり、休みを取得しやすい風潮に変化してきていると感じています。他社との差別化にもつながりますので、今後もSDGsの活動を通して働きやすい環境づくりへの取組みを継続していきたいです。
〈総務部 上田 耕平〉

SDGs 達成に向けた取組み

愛媛 SDGs ライスバッグを通して



目的・背景

愛媛 SDGs ライスバッグを通して、アップサイクルと福祉就労支援と地域創生が掛け合わせり相乗効果が生まれ、愛媛への地域愛着や郷土愛を育み仲間づくりにつながり、愛媛を知っている人も知らない人も、愛媛が好きになり興味を持つきっかけとなしてほしいと誕生しました。

具体的な取組内容

アップサイクル×福祉就労支援×地域創生とは

一度使用した 30 キロの廃棄処分される米袋と未利用資源のデニムを活用し、愛媛 SDGs ライスバッグはアップサイクルブランドとして新しい価値を生み出し、令和 4 年 2 月 20 日愛媛県政発足日に発売開始いたしました。製作には、福祉就労継続支援事業所に依頼し通所の方々へ仕事を生み出し、働きがいを創出します。ライブコマース物販 (R4.7 より月 1 回) では、愛媛の美味しい物を詰込み「愛媛お楽しみ袋」としての紹介や、バッグ購入後ライスバッグと出かける「旅するライスバッグ」として愛媛の良き場所を紹介し、愛媛への地域愛着や郷土愛を育み仲間づくりにつなげます。



愛媛 SDGs ライスバッグ 表裏



製作工程

成果

「愛媛 SDGs ライスバッグ」を活用していただくことにより、福祉就労支援事業の就労支援につながります。また、廃材米袋と未利用資源のデニムを使用することでゴミの削減につながります。イベントでは、選手のサイン入りで世界に一つだけの宝物バッグになる事で SDGs 推進キーマンアイテムとして周知活動ができました。

また、松山商工会議所第 18 回松山ブランドコンテスト『NEXT ONE』金賞松山市長賞を受賞、「えひめ SDGs アワード 2022」優秀賞を受賞、令和 5 年愛媛県資源循環優良モデル認定、令和 5 年度愛媛県「すぞモノ」データベース製品認定、第 16 回『書道パフォーマンス甲子園』大会グッズに選ばれる事で SDGs の取組みを伝える事ができました。



書道パフォーマンス甲子園大会グッズ 3 個

担当者の思い

SDGs に積極的に取り組み、周知活動も行っていることで弊社の取組みを周知でき、社内や関係団体からは、「SDGs に対する意識が高くなり、地域社会に対する意識が高まりました」などの声がありました。今後も、SDGs 活動を考え、目標の達成に貢献していきます。〈代表取締役 本宮 薫〉

株式会社中温

代表者 / 代表取締役 大澤 邦夫
業 種 / 食品製造業
所在地 / 愛媛県松山市小栗 1 丁目 2-28
連絡先 / 089-943-5211

SDGs 達成に向けた取組み

『中温にできること』



目的・背景

中小企業として、会社の存続、従業員の生活の確保という視点から大手との取引をしていくにあたって、大きな視点での企業の責任について気づきました。まず、自社の取組み、そして、関連するすべての取引先、そして、地域への責任、外国の人たちを雇用することに際して、その責任、背景などについても気づきました。また、気候変動や天災などのリスクが日々増大していく中で、危機感も感じています。

具体的な取組内容

我が社の取組みですが、7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」に関して、早くからデマンド設備による節電にも取り組み、古い冷蔵設備を省エネタイプに変える（令和5年9月完了）、太陽光設備の導入（施行中、令和6年1月完了予定）など、省電力に努めています。

12「つくる責任つかう責任」に関しては、野菜の残渣を100%肥料にする（継続中）など、廃棄物の発生防止、野菜等の生ものをロングライフ製品に加工して食品廃棄を減らしました（弊社の基本事業、さらに賞味期限を伸ばす方法開発中）。また、捨てられる部位の可食化（渋皮から抽出したポリフェノール、鯛の中骨の製品化、里芋の親芋の製品化）など食品ロスの削減にも取り組んでいます。

8「働きがいも経済成長も」に関しては、今最重要課題だと考えて取り組んでいます。この中には、1「大学生の奨学金返済による貧困をなくそう」、5「ジェンダー平等を実現しよう」、10「人や国の不平等をなくそう」、13「気候変動に具体的な対策を」などが含まれています。

具体的には、我が社では、従業員には正社員、長期パート、技能実習生、特定技能生がいます。国籍も日本、インドネシア、ベトナム、中国の方がいます。全員社会保険加入者です。人事評価制度、資格等級制度、交通費に関しては、距離に対しての支給を全員に、女性に関しては役職者35名の内、8名とまだ少ないですが、産休育休制度利用者も多く、新入社員も女性が多くなってきているので、10年計画で改善していきます。奨学金に関しては、奨学金代理返済制度を導入して少しでも助けになればと思います（現在進行中）。DECENT WORK、働き甲斐のある人間らしい働き方を追求したいと思います。

経済成長に関しても、設備投資、OJT研修、OffJT研修等により、従業員の成長、モチベーションをあげる仕組みを構築してきました。正社員97名のうち半数が35歳以下です。10年後を目指して、人材を育て、設備を効率的にし、DXにも取り組みます。令和6年1月に26名がITパスポートを受験します。将来的には、IT知識の基礎が正社員全員にあれば、会社としてのより良い発展につながると確信しています（狭義として4「質の高い教育をみんなに」にもつながります）。

また、国籍、性別、年齢、働き方などによる不平等をなくすよう取り組んでいます（人事評価制度、資格取得制度等、令和5年策定）（研修制度、平成30年度より実施）。

13「気候変動に具体的な対策を」に関しては、省電力などでCO₂削減に取り組みながら、BCPを策定し、また、見直すBCMを実行しています。ここ3年で地域の日本人雇用も35名くらい増やし、また、外国人雇用も80名くらい増えています。

11「住み続けられるまちづくりを」への貢献はまだですが、人口流出の多少なりとも歯止めにはなっていないのではないかと思います。

9「産業と技術革新の基盤をつくろう」に関しては、愛媛県産業技術センター、東雲短期大学などと産官学の取組みで商品開発、研究などに取り組んでいます。また、DXにも早くから取り組んでいましたが、今期正社員の25%がITパスポートを受験します（令和6年1月受験者）。今後この取組みを続け、DX化のさらなる、早い推進を続けたいと思います。令和7年には西条農産加工施設にファクトリーオートメーションも導入予定です。

2「飢餓をゼロに」に関しては、すべての人に安全で栄養のある食料を確保し持続可能な農業を促進するというので、我が社の企業理念どおり

で、また、3年前から、農業にも参入し将来的には農業GAPを目指しています（これは狭義では、3「すべての人に健康と福祉を」、15「陸の豊かさも守ろう」が含まれます）。

17「パートナーシップで目標を達成しよう」に関しては、松山市、東温市、西条市、愛媛県、日本国といろいろな情報共有や支援を受けてSDGsに取り組んでいます。

残るは、6「安全な水とトイレを世界中に」、14「海の豊かさを守ろう」、16「平和と公正をすべての人に」の3つです。

成果

全てにおいて成果が出ています。また、将来的に成果が期待できます。特に、8「働きがいも経済成長も」に関しては、従業員のモチベーションにつながり、経済成長、地域貢献、将来の技術革新の基礎となり、今後のSDGsの取組みすべてにさらなる成果が期待できます。



令和5年新年式集合写真

担当者の思い

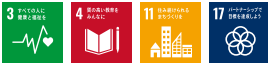
クリスマスが近づいてきます。YouTubeでジョンレノンの「HAPPY X'MAS」を聴きます。続けて「We are the world」が流れます。1970年代、1980年代は、SDGsなどと謳わずとも、SDGsの1「貧困」、2「飢餓」、3「健康と福祉」、4「教育」、5「ジェンダー平等」、6「安全な水とトイレ」、10「人や国の不平等をなくそう」、16「平和と公正をすべての人に」とPEOPLEに関することはみんな自然にその意識を持っていました。または持たされていた。SNSはなくても、カルチャーが充実していればフェイクではない現実には人々は感情的に反応していたのです。ですが、これらは未だに解決されていない。ひとりひとりの意識だけではなかなか変わらない。強力なリーダーがそれを声高らかに言わなければ実行できない。その上に経済成長とともに、貧富の差は広がり豊かさ（PROSPERITY）は一部の人間には行き渡らない。恩恵を受けている人は犠牲を伴いたくない。経済成長とともに、人間力が衰えてきているのを感じます。経済成長に伴うのはエネルギーの消費、環境の破壊、効率化を図るための人の選別、そして、競争（すべてにおいて）。この現実と闘いながら、中小企業としてどう生き残るか、どう発展するか、社員をどうしたら幸せにできるか、地域にどう貢献できるか、そして、日本に、世界にどう貢献できるか。日本の企業の内、中小企業は9割だと言われています。ですが、生産性、資金力、知識力、付加価値力などが低いため、世界情勢に振り回され、政治に振り回され、目の前の経営危機に対処できないのが実情です。その中でSDGs、働き方改革、女性活躍、HACCP、DX、さらにESGまで大企業並みに求められるようになってきています。今後、対応できる中小企業だけが残っていけると思います。小手先のSDGsではなく、包括的なSDGs（現実的な未来、最悪な未来を見据えたSDGs）に取り組まなくてはならないと考えます。
〈専務取締役 大澤 寿美子〉

株式会社建設マネジメント四国 松山営業所

代表者 / 営業所長 兵頭 英人
業 種 / 土木関係建設コンサルタント・補償関係コンサルタント
所在地 / 愛媛県松山市土居田町 53 番地 1
連絡先 / 089-994-5531

SDGs 達成に向けた取組み

社会貢献活動①



目的・背景

経営方針である「企業の社会的責任として法令等を遵守し、社会貢献・環境保全・女性の活躍推進等に取り組めます。」のもと、共助社会づくり、地域防災、土木技術者育成等への支援を通じ、社会貢献に取り組んでいます。

具体的な取組内容

- ・「特定非営利活動法人パラワーク」に対し、令和 5 年 4 月の年度当初に資金的支援を実施。当該団体では、パラアスリートの活動などを広く一般に情報発信し、活動環境の充実や就労支援などパラアスリートの社会的自立を支援するため、個人・団体の会員を募集し、その会費や寄付金等により事業を実施。障がい者との共生社会実現に向けた取組みとして、支援しています。
- ・愛媛大学の学生などを中心とした学生防災士で構成する「防災リーダークラブ」に対し、年度当初の令和 5 年 4 月に資金的支援を実施。当該団体は、自主防災組織の防災訓練及び勉強会等に参加し、地区防災計画の作成に関与するとともに、小・中・高生を対象とした防災教室等を通じ、地域の防災意識の向上や防災活動の拡大に積極的に取り組んでいることから、支援しています。
- ・西条農業高等学校「Team SSS (チームトリプルエス)」に対し、令和 5 年 4 月に資金的支援を実施。当該団体は、農業クラブ全国大会の平板測量競技会で優秀賞を受賞するなど土木技術の研鑽に努めるとともに、西条市の地域活性化を目的とした「うちぬき」を巡るツアーを企画し、国土交通省主催の水の里の旅コンテストで優秀賞を受賞するなど土木技術の向上及び地域づくりに積極的に取り組んでいることから、支援しています。

成果

パラワーク HP 及びパラアスリートの競技大会ポスターに、弊社の社名及びロゴが掲載され、パラワークの事業に協賛し、3「すべての人に健康と福祉を」の活動に貢献していることを PR できました。防災リーダークラブでは支援金によりベストを制作し、学生が着用することにより一体感のある防災活動に貢献し、学生の活動意欲の増大につながりました。Team SSS では、全国での競技会等の遠征費に支援金を充て、活動範囲の拡大や生徒の活動意欲向上につながりました。



桑原小学校防災教室

SDGs 達成に向けた取組み

社会貢献活動②



目的・背景

経営方針である「企業の社会的責任として法令等を遵守し、社会貢献・環境保全・女性の活躍推進等に取り組めます。」のもと、道路の清掃活動等を通じ、社会貢献及び環境保全に取り組んでいます。

具体的な取組内容

令和 5 年 3 月 16 日、国土交通省松山河川国道事務所及び松山市と道路ボランティアサポートプログラムの協定書を締結し、松山市土居田町国道 56 号下り車線、伊予鉄バス停「和泉北」付近約 80m の区間について、植樹帯を含む歩道の除草、清掃及び花の植栽の美化活動に取り組みました。なお、現地には、道路ボランティアサポートプログラム実施のサインボードを設置しています。



国道 56 号植栽風景

清掃道具及び花の苗の準備期間を経て、8 月 22 日 (火)、勤務後に社員有志 44 名が参加し、植樹帯を含む歩道の除草、清掃を行い、その後「ペンタス」及び「ブルーサルビア」の苗 200 株を植樹帯に植えました。8 月の暑い時期の植栽となりましたので、植栽後は、ほぼ毎日、暑い中、水やり等を約 1 ヶ月半、勤務後に実施しました。夏場を過ぎると、水やりの頻度は減少しましたが、除草及び清掃を継続して行っています。

成果

活動場所が、交差点に近接したバス停付近ということもあり、歩行者は勿論、バス利用者及び信号待ちする車両の運転手等の目にとまり、道路利用者から「花があると心が和む」との声を聞くなど、従来の繁茂する草むらにゴミくずや空のペットボトルが散乱する空間から、安らぎと潤いのある道路空間に大きく変わりました。植樹帯が交差点という位置にあったことから、従来は、信号待ちの車両から投棄されたと思われる各種のゴミが散乱していましたが、植栽後はゴミの投棄がなくなりました。

また、活動を通じて、社員間のコミュニケーションの増大にもつながっています。

担当者の思い

社員個人に対する SDGs への取組みが浸透しづらいついで、比較的参加しやすい美化清掃活動に取り組んだことにより、会社としての社会貢献だけでなく、社員の SDGs 意識の向上にもつながりました。さらに、社名入りサインボードの設置により、社会貢献活動を行う会社として、広く一般に広報できたものと考えています。



(技術第二課長 松木 博志)

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 愛媛支店

代表者 / 愛媛支店長 林 純一郎
業 種 / 損害保険業
所在地 / 愛媛県松山市宮田町 108 番地
連絡先 / 050-3461-7259

SDGs 達成に向けた取組み

愛媛県下における SDGs 推進を基軸とした地方創生「各種」取組み



目的・背景

SDGs 推進を進めることで、地域の課題を当社が持つ各種ソリューションで解決提案を実施するため、令和 3 年度に営業部門と切り離した独立専門部署「地域戦略室」を創設しました。県を始め、自治体を中心に県警や自衛隊、一般企業も巻き込みながら各種支援で課題可決支援活動に邁進しています。

具体的な取組内容

■ SDGs 推進は 1 企業単体では困難であり、どれだけパートナーを増やせるかが重要です。

その観点から

- ① 7 月に県産業政策課と共催で、SDGs 推進セミナーを開催。セミナーの中では SDGs 取組推進のヒントや、全額当社費用負担の専門コンサル会社のオンライン面談付の SDGs 経営診断サービスを紹介。県内企業の推進企業登録を支援し、各企業の SDGs 取組課題を明確化し、推進企業登録申請に必要な様式別の書類作成まで支援を実施しました。

他の取組みとして、下記報告をさせていただきます（はみ出てすみません）

- ② 罹災証明書申請サポート開始の紹介（保険会社としては唯一）
- ③ 障がい者福祉支援活動紹介
- ④ 危機管理活動支援紹介（交通事故軽減・ペット飼育者向け避難時の啓蒙）
- ⑤ 子どもの交通事故意識の向上支援活動紹介
- ⑥ 人口減対策取組事例（移住定住促進支援）
- ⑦ 中小企業向けの多発するサイバー被害対策支援活動
- ⑧ 災害復旧支援活動時のための支援
- ⑨ 地産品の知名度向上と販売支援
- ⑩ 企業版ふるさと納税の実施

成果

①は 4 企業が登録見込となりパートナーを増やすことができました。

営業部門と切り離すことで気軽にサービスを利用できると好評です。「SDGs 推進企業＝優良企業」となり、雇用の安定（創出）や将来も存続できる企業となることで、住み続けられるまち作りの 1 との活動具現化とすることができました。

担当者の思い

企業が生き残ることは、雇用が残ること。人口も税収も全てにつながっていく話。SDGs にいち早く取り組むことで取引先からも顧客からも「選ばれる企業」になるための支援を今後も続けてまいります。

（地域推進室 トレーニングセンター長 杉山 高志）



② 罹災証明書申請サポートサービス 覚書署名式（伊予市・宇和島市）と参考資料



③ 障がい者福祉支援活動



④ 自治体の総合防災訓練にて防災減災ソリューション提供による地域住民の意識向上支援
☆ペット同行避難セミナーと My リフレクター反射板作成教室開催



⑤ 小学生・未就学生への交通安全支援活動
ドリル寄贈式と保育園お散歩マップ



⑦ 中小企業体制強化＝サイバー被害対策セミナー



⑧ 保険会社の知見・知識を活かした防災減災啓蒙活動
◆松山駐屯地（HEV 等取り扱い安全セミナー）



⑧ 保険会社の知見・知識を活かした防災減災啓蒙活動
◆県警機動隊（HEV 等取り扱い安全セミナー）



⑨ 地産品知名度の向上及び販売促進支援（デジタルシェ）・当社により直接支援
◆デジタルシェ（社内チラシ）

SDGs 達成に向けた取組み

交通安全への取組み



目的・背景

当社は創業より「交通報国」を使命として「移動の自由」と「運転する楽しさ」のご提供に努めています。
 交通事故のない社会が大前提となりますので、社員である私たちは常に地域住民の方のお手本となって安全第一に運転し、広く啓蒙活動を続けることが重要だと考えています。

具体的な取組内容

・社内における交通安全啓蒙活動

(令和 4 年 8 月 31 日～ 12 月 31 日)

「えひめ無事故無違反 123 コンテスト」へ全社員 (44 チーム) が参加し

- ①交通事故、交通違反の軽減
 - ②無事故無違反チーム達成率の向上
 - ③社員の安全への意識の醸成
- 上記①～③へ取り組みました。



交通安全コンテスト社内告知

交通安全コンテストメンバー表

・地域へ向けた交通安全啓蒙活動

(令和 5 年 9 月 21 日～ 9 月 30 日)

「愛媛県オールトヨタセーフティドライブウィーク」(県警と合同) に参加し

- ①店舗周辺道路で通行車両に向けた立哨啓蒙活動を実施しました。
- ②店舗イベントで FCEV や BEV などの環境にやさしい車両や安全装備を積極的に紹介しました。
- ③店舗への来店者に反射リストバンドおよび子ども向け「交通安全ドリル」を配布し、交通安全を呼びかけました。



交通安全啓蒙立哨活動

成果

- ・交通事故違反件数→期間中 3 件 (前年比 -1 件)
- ・無事故無違反チーム達成率 97.7% (前年比 ± 0%)
愛媛県全体 94.8% を上回りました。
- ・社員の交通安全への意識も高まっています。
- ・愛媛県オールトヨタ販売店・愛媛県警合同で地域と連携した安全啓蒙活動を推進することができました。

担当者の思い

私たち愛媛トヨタは、「幸せを、乗せて。」をテーマに事業活動を通じて社会に価値を提供し、持続可能な幸せづくりと地域社会の発展に貢献したいと考えています。

〈営業支援部 人財開発グループ 渡部 隆〉

SDGs 達成に向けた取組み

社内 SDGs 推進プロジェクト「STEP2030」活動の深化



目的・背景

令和 3 年に発足したプロジェクトの活動の深化と社内外への波及効果について、2 年目には一人一人がテーマを持ち活動を継続。3 年目となる令和 5 年は新入社員 3 名を含め、立ち上げメンバーが新たな課題解決の支援をし、自身の業務への展開など自立型のプロジェクトとして運用されています。

具体的な取組内容

令和 4 年に設定した取組みテーマ（1 人 1 テーマ・5 名）に対し、成果を社内イベントでプレゼンテーションし、プロジェクトの認知向上と事業での展開をしました。

①社内掲示（コラム型）の運営・制作

令和 5 年 1 月～ 運用・制作方法の見直し・新規テーマ設定・意見収集・掲示継続中

②ビーチクリーンへの参画

令和 5 年 10 月 JT 様・愛媛県様他

③ SNS 運用・情報発信

令和 4 年 5 月～ 採用 Instagram アカウントにて情報発信（フォロワー数 70 → 現在 440）

令和 5 年 2 月 EV 車導入

令和 5 年 3 月 松山工場の取組み周知看板設置（来訪者・地域の方への発信）

令和 5 年 10 月・11 月・12 月

高校生向け企業説明会・フィールドスタディ

④自社サービス紹介ツール作成

⑤ STEP2030 キャラクター制作

令和 5 年 4 月公開

成果

- ①各ゴールに対する知識や自社の取組みの理解に貢献しました。
- ②自社が継続している「プチ美化運動」等への参画意識を高めたうえで、新たな取組みとして個人レベルでの参加意欲は高まりました。
- ③フォロワー数の増加（当初 200）を目標値としてあげ、1 年半で開始当初 70 → 440 へと増加。投稿スキルを新入社員教育や社内事例として活用しました。
- ④自社のサービスの情報整理を行いました。令和 5 年度は環境保護印刷に特化した理解支援ツール「SAKAWA Print Index」の制作を新入社員のテーマとして選定し、完成させました。新入社員には製品制作過程の教育、立ち上げメンバーにはアドバイザーとして教育の場として活用しています。
- ⑤公式キャラクターの制作
SNS でカウントダウンを行う、入社式という全員が集まる場を活用して告知を行うなど、自社の事業に沿った展開を行いました。



松山工場の取組み周知看板と STEP2030 メンバー



Instagram アカウントにて情報発信



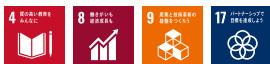
カーボンニュートラル啓発番組出演（ECCCA WEB MAGAZINE）

担当者の思い

次世代を担う若手社員が「ジブンゴト」として SDGs を捉え、課題解決を行うことを主軸に取り組んできた活動ですが、社内では SDGs のことなら STEP2030 に相談してみようとか、意見を聞いてみようといった声が寄せられます。また、社外からも啓発活動への参画のお声がけをいただくことが増え、メンバーひとりひとりの成長の機会にもなっています。
（経営管理部 次長 加納 飛鳥）

SDGs 達成に向けた取組み

「食のサプライチェーン」を通じて SDGs の達成に向けて活動



目的・背景

食品卸売業として、食を通して地域課題に取り組み、地域商材の販売強化、商品開発時の支援や販路拡大での地域貢献を目標に活動しています。

具体的な取組内容

a. スーパーに並んでいる商品の選定など、バイヤー業務を小学生に体験していただく「こどもバイヤー」を株式会社セブンスター様と開催 (R5.8.3) しました。当日は実際に販売する商品の試食・評価を行い、物流倉庫見学や商品流通について説明等も併せて行いました。



お四国鍋つゆ旭食品展示会



お四国鍋つゆ店頭



青パイヤミックスキムチイベント販売



c. 愛媛県内の地域商材の販路拡大を目的に愛媛県営業本部と小規模商談会を弊社会議室で開催 (R5.10.11) しました。

成果

- a. 「こどもバイヤー」は抽選で小学高学年の親子7組14名に参加いただき、メーカー担当者様による商品説明や商品の試食、商品がお店に並ぶまでを説明し、商品やその流通について子どもたちに興味を持ってもらうことや、バイヤーの業務に関する知識の学習機会を提供できました。
- b. 四国の商材を使用して商品開発を行うことで、地域の良い素材をより多くのお客様に知っていただき、生産者様・地域メーカー様の支援に貢献できたと思います。
- c. 県内で販売を担う小売店様と地域メーカー様との商談機会を増やすことにより、一部ですが地域商材の新たな取引が開始し、地域活性化に貢献できました。

b. 株式会社エフエム愛媛様や地域メーカー様などと共同で四国の食材を使用した商品開発を行っております。開発商品の「お四国巡り万能つゆ」を使用した「お四国むすび太平洋編・瀬戸内編」をグループ会社のデリカサラダボーイ株式会社で開発・製造 (R5.3.20 ~ R5.6.30) し、四国内のスーパーなどで販売しました。また、令和3年より期間限定として販売している「お四国鍋つゆ真鯛と柚子風味・阿波尾鶏と醤油風味」2種類を令和5年度も再販売 (R5.9.1) しており、弊社を含む地域問屋3社で構成するトモシアホールディングスの販売網で北海道から九州まで販路を拡大しております。



さらに、愛媛県立西条農業高校の「青パイヤパパイヤグローバルプロジェクト活動」に賛同し、株式会社エフエム愛媛様と商品開発を進める過程で株式会社守谷漬物様に製造協力いただき「青パイヤミックスキムチ」を発売 (R5.11.1) しました。

担当者の思い

SDGsに取り組みことによって、「地域密着、現場主義」と弊社が掲げているように、より地域に根差し、地域課題の解決に取り組む企業へと成長できているのではないかと考えております。また、従業員が一体となって活動に取り組むことで、さらにチームとして厚みが増すことを期待しています。

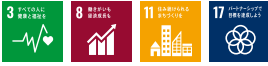
〈管理部管理課 倉橋 瑞季〉

株式会社グラン・ジュテ

代表者 / 代表取締役 大石 千枝
業 種 / ハンバーガー製造販売
所在地 / 愛媛県松山市古川北 3-10-3
連絡先 / 090-2787-2999 (担当者 携帯)

SDGs 達成に向けた取組み

- ① 高度小児医療施設に隣接する滞在施設 (ドナルド・マクドナルド・ハウス) の支援
- ② 外国人・障害者雇用促進



目的・背景

- ① 「ドナルド・マクドナルド・ハウス」(以下略 DMH) で病気と闘う子どもとその家族の支援 (SDGs の基本理念 3 「すべての人に健康と福祉を」) を通じて、共に助け合う社会 (17 「パートナーシップで目標を達成しよう」) を目指したチャリティ文化の醸成と、“病気の子どもの家族を笑顔にする” 活動に取り組んでいます。
- ② ダイバーシティの雇用促進に取り組んでいます。

具体的な取組内容

- ① 11月19日を青いマックの日と称し、県内法人8店舗同様の取組みとして、当日店舗にお越しいただくお客様へのDMHの周知活動及び募金活動を実施しました。(R5.11.19)
 - ・周知活動では、例年同様(平成29年より)店舗に来店いただいたお客様のご協力により、病気と闘う子どもとそのご家族へメッセージをいただきました。
 - ・募金活動では、店舗にご来店のお客様・ショッピングモールフードコート内による募金箱への募金、モバイルオーダーによるネット募金、事前に配布していたミニ募金箱の回収やハッピーセット(お子様向けミールセット) 購買訴求により売上の一部(1セットにつき50円)がドナルド・マクドナルド・ハウス財団へ寄付されています。11月の1ヶ月間(R5.11)を強化月間とし活動しましたが、周知活動、募金活動は継続して通年で行っています。
- ② ダイバーシティの雇用促進については、外国人雇用や障害者雇用、高齢者雇用等、幅広い属性の従業員の雇用をしています。

成果

- ① 法人店頭での募金額 ¥164,706 (前年 ¥65,103) と認知や活動も広がってきて、たくさんの方にご協力をいただきました。3「すべての人に健康と福祉を」を目的とした取組みでしたが、地域の方に支えられて活性化したことで、17「パートナーシップで目標を達成しよう」にも大いに貢献できました。
- ② 新規採用(社員・アルバイト・パートを含めた雇用形態) 110名、うち近隣の専門学校在籍の外国人留学生・障害者・高齢者の雇用となり、活躍していただいています。8「働きがいも経済成長も」、17「パートナーシップで目標を達成しよう」につながりました。

担当者の思い

年々、SDGsが身近に感じられるようになりました。特別な取組みと感じていたものがみなさんに受け入れられ、また助け合いの中で成り立っていることが結果につながっていることに嬉しく思います。
(店長 枇杷田 真弓)



青いマックの日募金活動



ダイバーシティの雇用促進

株式会社久保建設

代表者 / 代表取締役 久保 陽生

業 種 / 建設業

所在地 / 愛媛県上浮穴郡久万高原町二名甲 1166 番地 1

連絡先 / 0892-21-8200

SDGs 達成に向けた取組み

明神小学校での防災教室および重機見学



目的・背景

久万高原町においては、若者が定住せず少子高齢化が問題となっており、町内での雇用の創出が課題です。また、久万高原町では自然災害発生時に地域の守り手となる建設会社の減少による災害発生時への懸念と雇用の減少が起こっています。当社では、地元の幼稚園、小・中学校を対象に久万高原町で起こり得る災害についての出前授業を行い、災害に対する興味関心を子どものうちから持ってもらうとともに、建設施工機械の見学から建設という分野に興味関心を持ってもらうことで地域の未来を支え、SDGs17のゴールの11「住み続けられるまちづくりを」を実現する人材の確保を目的としています。

具体的な取組内容

令和5年7月18日(火)

- ・愛媛大学 ネットラ教授と学生2名による出前授業の実施。
久万高原町における自然災害の発生メカニズム等について授業を行いました。



同日

- ・協力企業2社による重機の説明とICT施工についての説明および重機体験・重機見学に先立ち、重機についての知識とICT施工について小さなお子さんでも分かるように説明をしてもらいました。続いて、実際に重機が掘削する様子を見学し、大型重機や大型ダンプの見学も行いました。



当社では、このような活動を年1回程度で継続して行っています。

- ・令和4年 父二峰小学校
- ・令和3年 美川中学校 父二峰小学校

成果

今回の活動で、建設業においても、SDGs17のゴールの8「働きがいも経済成長も」を実現することができるということ子どもたちにアピールすることができました。建設機械の技術の向上により、安全で安心して建設業の仕事ができることを伝えられました。この活動を長期にわたり継続していくことで、SDGs17のゴールのうち、8「働きがいも経済成長も」や11「住み続けられるまちづくりを」の達成に貢献できるものと考えます。

また、今回は愛媛大学の教授にも参加いただいたことで、4「質の高い教育をみんなに」という目標にも貢献することができました。

担当者の思い

SDGsの取組みを通じて、社内でのSDGsに対する意識が高まるとともに、自社の活動が地域社会に貢献しているという実感が得られ、モチベーションの向上につながっています。また、SDGsの取組みを行うことは地域住民やその他のステークホルダーと交流する良い機会になっており、建設業への理解の深まりやイメージアップにつながっていることを実感しています。
(久保 彩子)

株式会社石原自動車教習所

代表者 / 代表取締役 石原 将樹
業 種 / 教習業
所在地 / 愛媛県松山市空港通 4 丁目 8-12
連絡先 / 089-972-1010

SDGs 達成に向けた取組み

安全な車社会の実現と、安心して住みやすい地域社会を作る



目的・背景

創業以来、運転免許教習や各種講習を通じて優良運転者の育成に努めてまいりました。

社会生活に深くかかわる交通や物流の分野に優良な運転者が増えることで、交通事故のない安全な車社会、誰もが安心して暮らせる地域社会を実現する必要があります。



具体的な取組内容

初心者への運転免許教習、高齢者講習、企業講習、ペーパードライバー講習を適切に行うことで、地域の交通安全対策を強化していきます。

そのためには、まず指導員・検定員の資質向上を積極的に行います。新任教習指導員・検定員の育成、他車種の指導員資格・

検定員資格を取得するための支援、熟練指導員による後輩指導員への教育、県内外での研修などを通じて、指導員・検定員としての知識・技術を深めていきます。

さらに、「ほめる達人」などの講習を受けることで職員の接客能力の向上をめざし、お客様に満足していただける教育の場を提供していきます。これらの取組みが相乗効果となり、より効果的に安全運転につながる教習内容を浸透させていくことができます。

実施時期について、教習所の営業日は毎日上記の取組みを心がけて教習に従事しています。

成果

上記取組みの積み重ねが、地域における交通事故を減少させること、安全な車社会の実現と住みやすい地域を作ることにつながっています。

担当者の思い

SDGs は知ってしまえば当たり前のように取り組んでいることが多く、その当たり前を意識をすることで、あらゆる価値が上がり質が良くなると考えます。

〈代表取締役 石原 将樹〉



道後ピクルス

代表者 / 代表 河野 ゆかり
業 種 / 食品製造・販売
所在地 / 愛媛県松山市清水町1丁目3-8 1F
連絡先 / 089-917-6760

SDGs 達成に向けた取組み

ピクルス液パウチ開発とピクルス作り体験・ワークショップ実施



目的・背景

余った食材で誰もが手軽にピクルスを作れるように、「ピクルス液パウチ」の開発に取り組みました。「ピクルス液パウチ」は、家庭にある余り野菜をカットして入れるだけで、誰でも美味しいピクルスを作ることができる商品で、消費者が様々な食材でピクルスを作る楽しさを感じながら、気軽にフードロス削減に貢献できます。

また、商品の製造・販売だけではなく、ピクルスを作る楽しさやフードロス削減の意義を伝えるためにピクルス作り体験・ワークショップも実施しました。ピクルス作り体験・ワークショップを通じて、一人ひとりの小さなアクションを促し、環境負荷の軽減に貢献できればと考えています。

フードロスは、ただ食べ物が無駄になるという問題だけではなく、例えば、水分を多く含む食品の焼却処分には大量のエネルギーが必要で、生産・保管・加工・輸送・消費・廃棄の全ての過程においてエネルギーが使われ、炭素が排出されます。そのため、生き物の命や生産者の労力だけでなく、流通の過程で使用されるエネルギーや資源も無駄になり、環境への負荷が高まります。

そうした問題に日常生活の中で少しでも目を向けてもらい、消費者の皆様により良い選択肢を提供したいというのが道後ピクルスの想いです。そのために、流通せずに廃棄されてしまう農作物に新たな価値を吹き込むなどして、消費者の皆様がエシカルな商品を届けられるように日々取り組んでいます。少しでも食品の廃棄や環境への負荷を減らし、未来の世に、美味しくエシカルな商品を提供できる社会を築いていきたいと考えて取り組んでいます。



【ピクルス作り出張体験・ワークショップ】

「工房でピクルス作り体験」や「出張ピクルス作り体験」など、お客様と一緒にピクルスを作り、フードロスの問題やその解消に向けた当社の取組みについて知ってもらい、大人だけでなく子どもたちにも SDGs についての理解を深めて行動につなげてもらうための機会を提供しました。

令和5年度はこれまで計16回のピクルス作り出張レッスン/ワークショップを開催し、これまで157名の方にご参加いただきました。



成果

ピクルス液パウチを開発し、クラウドファンディングのリターン品として19名の方にお届けしました。また、10名の方にモニターとして実際にピクルス液パウチを試してもらい、アンケートにも回答いただきました。現在はモニターの皆様からいただいたアンケート結果を元に、令和6年の本発売に向けて準備を進めております。すでに道後十五万石、三越店、いとまちマルシェで販売が決まっております。また、パウチだけを販売するのではなく、市場に流通せずに廃棄されてしまう規格外の農産物とセットでオンライン販売するなど、全国の消費者がフードロス削減に直接貢献できるような形の販売も検討しています。他にも、誰もが気軽に参加できるフードロス削減のアクションとして、ピクルス作りの楽しさやフードロス削減の意義を体感してもらおうピクルス作り体験・ワークショップに取り組んでいます。お客様からは下記のような声をいただいております。

「ピクルスの概念が変わった」「レッスンで持ち帰ったピクルスを子どもが家でも作ってほしいと喜んだ」「お酢の苦手な家族が喜んで食べるようになった」「家でもピクルスをつくるのが習慣になった」「瓶に入れたピクルスが可愛いので友達にもプレゼントしている」「今まで捨てていた大根の皮などもピクルスにして食べるようになった」「野菜をたくさん食べるようになった」など生徒の皆さんははとでも前向きに捉えてくださり、存在意義を感じています。



担当者の思い

私たちは、廃棄されてしまうはずだった野菜や果物をアップサイクルし、ピクルスとして加工・販売することで、愛媛県の美味しい農産物の地産地消、地産知招を促進し、生産者や農業が抱える課題の緩和や解決の糸口を探しながら、持続可能なビジネスとして循環型社会を構築していくことを目指しています。



また、商品を製造・販売するだけではなく、生産者が消費者と一緒にワークショップなどに取り組むことで、SDGs への関心を高めたり、広く普及したりするきっかけを提供できると考えています。実際に、親子でワークショップに参加したお母さんとお子様も、自宅でピクルスを作り、でき上がるのを楽しみに待っていてくれたりします。小さなお子様でも簡単に作れますし、苦手な野菜もピクルスにすると美味しく食べられたりするので、食育にも貢献していると自負しています。

SDGs の取組みにおいては、自分が知ったことを実践するだけでなく、大きな影響力を持って発信していくことも重要です。そのために、「1人の100歩よりも、100人の1歩」という考え方に賛同し、家庭で簡単にピクルスをつくれる「ピクルス液」を商品化しました。日常の習慣として一人ひとりが小さな行動を積み重ねていくことで、自然とフードロス削減に貢献できます。こうした私たちの取組みが、健康的な食生活やエシカルな消費を広く普及させ、持続可能な未来を築く一助になると信じています。

〈代表 河野 ゆかり〉

具体的な取組内容

【ピクルス液パウチの開発】

- 令和5年6月 ピクルス液の商品開発に着手
- 令和5年11月 クラウドファンディングのリターン品として出荷
- 令和5年11月 販売開始に向けてモニターを募集
- 令和5年12月 モニターの皆様からのアンケートを元に最終調整

クラウドファンディングでは、下記の3つをリターン品として出荷。

【プチ応援！ピクルス液パウチ一袋 1,000円】

【ピクルス液パウチ6種類セット】

【愛媛の季節野菜詰め合わせ+ピクルス液パウチ6種類セット】

プロジェクトページ：<https://camp-fire.jp/projects/view/689070>

家庭にある様々な野菜や果物に合うように、6種類のピクルス液(みかん酢・和風・洋風・マスタード・にんにく醤油・塩麹)を開発しました。

SDGs 達成に向けた取組み

自然保護及び産業物排出削減



目的・背景

環境問題（温暖化）・BCP 対策

地域の EV 充電スペース普及、2050 年カーボンニュートラル実現を最終目的に、環境に優しい企業経営に取り組んでいます。V2H（EV や PHEV などの電気自動車のバッテリーに蓄えられた電力を、家庭用電源としても使えるようにする機器）と太陽光パネルを活用し、災害時の地域の避難所になれるよう導入しました。

具体的な取組内容

令和 5 年 5 月に EV 用急速充電器（50KW）、V2H を導入しました。

急速充電器はこれからの時代を担う電気自動車普及支援のため、V2H は災害時の電力供給拠点としてご利用いただけるよう導入いたしました。

今後伊予市とも提携を行い、災害時の地域避難所登録を行ってまいります。

成果

・ EV 用急速充電設備の利用状況

新規の電気自動車ユーザーの利用あり
既存顧客の電気自動車購入

・ V2H

メーカーさんによる災害時の使用講演実施

・ 社用車 PHEV 導入

令和 4 年 0 台⇒令和 5 年 2 台導入 (RAV4、エクリプスクロス)

上記内容で 7「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」、11「住み続けられるまちづくりを」、13「気候変動に具体的な対策を」に貢献しました。

担当者の思い

SDGs に積極的に取り組むことで、新規雇用につなげることができました。敷地内にも看板を設置した事により、取引業者等にもアピールすることができました。

未来ある子どもたちのために持続可能な開発目標を従業員一同共通意識で取り組みたいです。

2030 年までに 1 つでも多くの開発目標を達成したいです。

〈久保 沙織〉



EV 用急速充電器



V2H



RAV4



エクリプスクロス

株式会社 瀬戸内しまなみリーディング

代表者 / 代表取締役 宮本 敬治
業 種 / 運輸業
所在地 / 愛媛県今治市東鳥生町 5 丁目 15 番地
連絡先 / 0898-25-8511

SDGs 達成に向けた取組み

デジタル化の実践



目的・背景

紙ベースの資料や提出書類が多く、人力によるチェックもあり、業務の非効率さが社内でも問題になっていました。昨今の人材不足や DX の流れもあり、ペーパーレス化、業務の効率化を進めていくことで、資源の有効活用、人材育成、持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。

具体的な取組内容

令和 5 年 10 月よりタイムカードを順次、IC カードへ移行し、12 月よりタイムカードを廃止しました。また、バスの全車両にデジタルドライブレコーダーを設置しました。



タイムレコーダー

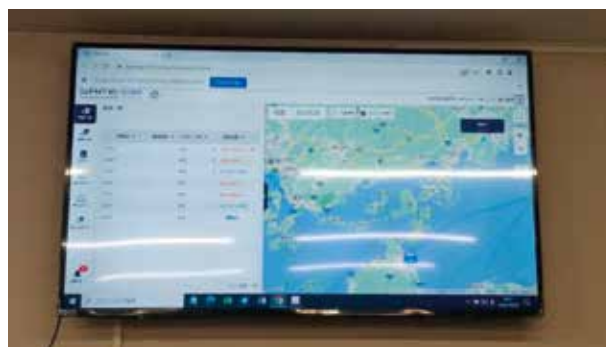


デジタルドライブレコーダー

成果

タイムカードを廃止したことで、勤怠管理、給料計算などがすべてデータで処理できるようになり、経理事務のペーパーレス化、効率化につながりました。また、バスは現在地の把握や乗客、乗務員のより一層の安全を確保できるようになり、運行記録のデータ収集もペーパーレス化しました。

さらに、バスの走行中の異音やフロントガラスの割れなどの原因追及、急ブレーキの通知など安全運行に役立っています。



バス現在地



担当者の思い

社内において、SDGs に対する意識の向上が感じられました。できることは多いと感じていますので、これからも目標の達成に取り組んでいきます。(経営管理部 橋 健太郎)

株式会社ベルモニー

代表者 / 代表取締役社長 武智 正晴
業 種 / 冠婚葬祭互助会
所在地 / 愛媛県松山市姫原 3 丁目 4-13
連絡先 / 089-911-0980

SDGs 達成に向けた取組み

イベントの記念品、結婚式の引き出物、お葬式の返礼品などに地産品を採用



目的・背景

私たち株式会社ベルモニーは、地域の皆さまとの交わりや、地域の企業・団体さまとの連携というパートナーシップこそが、地元に必要な「信頼される良い会社」となる大切な結びつきと考えています。

具体的な取組内容

弊社は令和 3 年 3 月の SDGs 宣言を行って以降、「イベントにおける記念品、結婚式の引き出物、お葬式の返礼品などに地産品を採用していく」ことを継続しています。令和 5 年における新しい取組みとして、①イベントでの記念品においては、お客さまに喜んでいただけるようなアイテムを地産品の観点から継続して採用し続けています。②イベントに賑わいを演出するために、地元で活躍しているキッチンカーを誘致するようにしています。③結婚式場調理部門が手掛けるギフト商品には、必ず地産品を食材に選択しています。

成果

地産品の採用はお客さまに安心安全を訴求できています。またキッチンカーの誘致は、お客さまの方がよくご存じのようで、「ベルモニーのイベントで、〇〇のキッチンカーが来てとてもうれしい」というお言葉もいただいています。

担当者の思い

弊社の地産品採用の取組みは、社員の中でもかなり広がっています。仕事における商品の選択においても、それが地産品かどうか、地元へ貢献できる商品かどうかを、常に意識するようになってきました。

〈本部企画部 企画部長 生南 祐司〉

愛媛海運株式会社

代表者 / 代表取締役 西山 富士弥
業 種 / 運輸業
所在地 / 愛媛県松山市海岸通 1455-1
連絡先 / 089-951-0710

SDGs 達成に向けた取組み

緑のカーテン活動



目的・背景

令和 4 年度に引き続き、「緑のカーテン活動」を行いました。事務所壁面を一年草で覆い、強い夏の日差しを和らげるなど、様々な効果が期待できます。クーラーの設定温度を活動前より 1℃上げたり、緑のカーテン活動の周知にもなりました。

具体的な取組内容

令和 5 年 5 月 24 日 外港事務所壁や周辺に一年草の苗を植えました。令和 4 年度の経験から梅雨入り前に着手しました。
令和 5 年 6 月 21 日 ゴーヤやキュウリが順調に育ちました。
令和 5 年 7 月 24 日 緑のカーテンが外港事務所壁面を覆いました。収穫した野菜は、従業員で分けたり、キュウリを 1 本漬けにしたりして、熱中症対策としました。冷房の設定温度を 26℃から 27℃に変更しました。

成果

緑のカーテン活動を行い、冷房温度を活動前までは 26 度に設定していましたが、令和 5 年度は 27 度設定にすることができました。また、収穫した野菜は従業員で食べて消費できました。事務所を訪れたお客様にも緑のカーテン活動を知ってもらえました。2 年目の活動ということもあり、令和 4 年度より立派な緑のカーテンが完成しました。



担当者の思い

令和 4 年度に引き続き、緑のカーテン活動を行いました。令和 4 年度の経験を踏まえ、従業員の皆様が知恵を出し合い、令和 4 年度より生い茂ったカーテンができました。

〈外港事務所 田坂 誠基〉

有限会社エントロピー

代表者 / 代表取締役 福原 良明
業 種 / 建設業・管工事業 (ガス空調機を中心とした空調設備業)
所在地 / 愛媛県松山市森松町 147 番地 5
連絡先 / 089-970-7070

SDGs 達成に向けた取組み

SDGs 視点による病院、介護施設、1 次避難所になる会社等に BCP (事業継続計画) 対策強化機器の提案



目的・背景

地球の異常気象と気候変動、地震、津波、停電等が起きた時の 1 次避難場所に冷暖房の供給、非常用電気の供給、温水等によるお風呂のお湯をガスクリーンエネルギー機器により供給することで、避難生活を少しでも快適に過ごせるお手伝いに貢献できます。

具体的な取組内容

経済産業省による補助金を活用して、古くなった空調設備 (15 年を超した機器) のリニューアルを見据えて、次年度の申し込み時期に間に合うように提案しています。機器は空調機器だけではなく、ガスによる非常発電機、マイクロコージェネレーションシステムによる電気とお湯の供給、炊き出し用ガス調理器による食事の提供等があります。

成果

愛媛県は天災が少ない土地柄なので、思いつく方法が少ないので苦慮しています。

担当者の思い

SDGs に取り組み始めてから、空調機器の提案時に省エネに関する意識が強くなってきました。

(代表取締役 福原 良明)

株式会社山装

代表者 / 代表取締役 山本 明利
業 種 / 建設業
所在地 / 愛媛県松山市保免上 1 丁目 15 番 19 号
連絡先 / 089-943-0373

SDGs 達成に向けた取組み

愛媛県及び保免・余土地区の地域貢献・地域活性化



目的・背景

新型コロナウイルスにより人の集まるイベントが見送られてきましたが、令和 4 年度には規模を限定して、令和 5 年度は以前のような規制の少ない状態でのイベント開催となり、弊社も地域の笑顔を取り戻すため、イベントへの参加や協賛、寄付等を行っております。

具体的な取組内容

7 月度
「愛媛県仕上組合のふわり海岸の清掃活動」
8 月度
「マドンナカップ in 伊予市 ビーチバレージャパン女子ジュニア選手権大会」
「松山野球拳おどり」
10 月度
「地方祭、日招八幡大神社に来社いただき、祈祷と獅子舞披露」
「雑巾がけレース Z1 グランプリ in せいよ」
その他寄付金等、地域貢献、地域活性化につながることを主に取り組んでまいりました。

成果

松山市が実施している、松山市民活動推進事業に多年にわたり寄付してきたことについて、松山市長より感謝状をいただきました。
また、令和 5 年度のイベントは規制が緩和されて、地方祭で 4 年間実施されていなかった子ども神輿等が出たりと、会社近隣の方と賑やかな雰囲気で見覧・談笑できたことが印象的でした。

担当者の思い

地域貢献・活性化を目標に活動していく上で、具体的な活動内容と目標を SDGs の項目にあてはめることができ、社員の意識が一つになったのが非常に良かったです。今後も担当者の指示で動くのではなく、社内全員で意見を出し合い、活動を続けていきたいと思っています。

(統括部長 中岡 健二)

有限会社土居真珠

代表者 / 代表取締役 土居 一徳
業 種 / 卸・小売業
所在地 / 愛媛県宇和島市三浦西 5121-9
連絡先 / 0895-29-0011

SDGs 達成に向けた取組み

環境に配慮したものづくりへの取組み



目的・背景

真珠養殖過程で真珠取り出し後に出てくるアコヤガイの貝殻は、通常は海外に輸出されボタンなどの材料にされていますが、国内でも消費ができる方法を考えました。

具体的な取組内容

- ・真珠養殖使用後のアコヤガイの貝殻の真珠層のみを削り出し、パールパウダーを製造、販売。
- ・パールパウダーを化粧品や食品の材料として使用。または貝殻の真珠層のみを販売。

成果

在庫が少なくなったら貝殻を削り、パウダーを製造・補充しています。毎年貝殻を使用するかどうかはパウダーの売り上げによるため、これまではパウダーを作らない年もありましたが、令和5年も新しいパウダーを作ることができ、貝殻を消費することができました。

貝殻の真珠層のみの需要も増えました。



パールパウダー



アコヤガイの貝殻

担当者の思い

私たちが行う真珠に携わる仕事は自然の恩恵を受けて成り立っており、それは同時に自然にも負担をかけているはず。その自然への負担はこの真珠産業が続くにしたがい、これからも徐々に積み重なっていくと思います。私たちはその負担を少しでも減らす努力をし、自然に恩返しをしなければならぬと考えています。

〈代表取締役 土居 一徳〉

有限会社ウエコー

代表者 / 代表取締役 上田 省吾
業 種 / 建設業
所在地 / 愛媛県伊予郡松前町北川原 987-9
連絡先 / 089-985-4031

SDGs 達成に向けた取組み

地域とのつながり



目的・背景

地域の方々に弊社を認知、信頼してもらい、地域密着型の会社を目指します。

具体的な取組内容

地域清掃の参加や、地域行事に積極的に参加しています。又、週に1回程度隣接している道路の清掃などもしています。

成果

朝の「おはようございます」などの挨拶も、近隣の方をはじめ、色んな方と笑顔で自然にできるようになり、信頼という面では日々成果が出ていると思います。

担当者の思い

朝の挨拶をはじめ、ちょっとした会話など笑顔で交流ができています。

〈中矢 博規〉

企業組合こもねっと

代表者 / 代表理事 高木 治
業 種 / 水産業
所在地 / 愛媛県宇和島市蔦淵 10698
連絡先 / 0895-63-0163

SDGs 達成に向けた取組み

真鯛の未利用部位を使用した商品開発



目的・背景

加工時に出る廃棄していた真鯛の未利用部位を使用して、商品開発を行っています。未利用部位は中骨部位で栄養価も高く、健康需要にも貢献できる商品ができると考え、商品を開発しています。

具体的な取組内容

令和4年度開発した真鯛のスープに続き、令和5年度は真鯛のペーストを主原料にした真鯛のタルタルソース・真鯛のパーニャカウダーの商品開発を行っています。

成果

真鯛の未利用部位の廃棄も減り、廃棄部位が売り上げになることで企業の販路も広がり、取組みの成果として実績を作れました。

担当者の思い

地方を持続的な未来につなげるためには、個の力で努力するよりパートナーシップを結び、お互いの良いもの・得意分野をコラボさせていく必要があります。また、埋もれている経営資源の発掘も大事な要素になってくると考えています。より多くの企業とパートナーシップを結ぶことで、埋もれている経営資源の発掘にもつながると考えます。



〈営業部 営業部長 高木 元〉

愛媛菅公学生服株式会社

代表者 / 代表取締役社長 尾崎 茂
業 種 / 学校制服・体操服の製造、販売
所在地 / 愛媛県松山市東長戸4丁目1番30号
連絡先 / 089-927-5510

SDGs 達成に向けた取組み

LGBTQ (性の多様性等) の理解促進



目的・背景

LGBTQ 当事者の方や専門家による、生徒や先生、保護者の方を対象にした講演会やワークショップを実施しています。正しい知識を身に付けることで、多様な性のあり方への理解を学校全体で深めます。

具体的な取組内容

令和4年度（企業年度）は52件の開催実績となりました。令和4年12月22日には西予市立宇和中学校にてトランスジェンダーの西原さつきさんに「自分らしく生きていく」の講演を全校生徒、教員及び希望の保護者に実施しました。営業担当が実施をする制服に係わるLGBTQの勉強会も教員、保護者等に令和4年からスタートしました。

【実施校】

令和4年：5校、令和5年：2校、また12月18日に御荘中学校で実施を予定しています（令和5年12月時点）。

成果

宇和中学校で西原さつきさんの講演をした際には、希望の保護者10名以上が参加されました。また、性差のない制服に改定をすることが令和5年7月に発表され、令和7年新入生より改定されます。今後も制服の改定だけが目的ではなく、4「質の高い教育をみんなに」、5「ジェンダー平等を実現しよう」を多角的な部分において貢献をしていきます。

担当者の思い

SDGs 推進企業の認可を得たこともあり、社内で小さなことで一人一人の行動で社会貢献につながる事は無いかと話し合いを持ちました。その中で「マイボトル」を積極的に使ってゴミを減らす意見が一致し、早速行動に移すようになりました。主体的に取り組む事で指標の達成だけでなく、様々なことに目を向ける事ができる企業に成長できるよう取り組みます。

〈常務取締役 土生 浩三〉

愛媛県SDGs推進企業一覧

【第3期（登録期間：～令和6年7月31日）】

番号	企業・団体等名	番号	企業・団体等名	番号	企業・団体等名
3-1	大同生命保険(株) 松山支社	3-63	(株)大旺	3-126	(株)マルシン工業
3-2	(株)翔神	3-64	(株)大石工作所	3-127	道後 hakuro
3-3	菊池建設工業(株)	3-65	(株)クレイン ジュエルカフェ エミフルMASAKI店	3-128	(株)高橋工務店
3-4	(株)ビューティー・セレクト	3-66	(株)クレイン ジュエルカフェ フジグラン松山店	3-129	(同) OHANA
3-5	(株)四国ライト	3-67	(株)クレイン ジュエルカフェ フジグラン重信店	3-130	(株)曽我部鐵工所
3-6	金生商事(株)	3-68	(株)クレイン ジュエルカフェ 松山銀天街店	3-131	(株)地域科学研究所
3-7	(株)ダスキン椿	3-69	(株)クレイン ジュエルカフェ フジ店	3-132	ゼロハウス(株)
3-8	(有)湯き国	3-70	(株)クレイン ジュエルカフェ フジグラン川之江店	3-133	(株)AZUMI
3-9	加地電設(株)	3-71	井原工業(株)	3-134	(株)カスタマーリレーションテレマーケティング 松山支店
3-10	IHテクノロジー(株)	3-72	西日本電信電話(株) 四国支店	3-135	(株)久保建設
3-11	川之江信用金庫	3-73	NTTビジネスソリューションズ(株) 愛媛ビジネス営業部	3-136	(株)ONE'S STYLE NISHIKAWA
3-12	(株)青空興業	3-74	社会福祉法人エリム会	3-137	(株)アレス
3-13	(株)ベルモニー	3-75	(株)ニューズ	3-138	山の手リゾート(株)(道後山の手ホテル)
3-14	太平ビルサービス(株) 松山支店	3-76	キャリア・サポート(株)	3-139	キスケ(株)
3-15	(有)影浦塗装工業	3-77	重松兄弟設備(株)	3-140	(株)勝建設
3-16	四国竹林塗装工業(株)	3-78	ヤマセイ(株)	3-141	(株)西四国マツダ
3-17	愛媛海運(株)	3-79	(株)二神組	3-142	日本テクノ(株) 松山営業所
3-18	(有)山海興産	3-80	森実運輸(株)	3-143	(株)石原自動車教習所
3-19	(株)日浅	3-81	(株)CPI	3-144	道後ピクルス
3-20	(株)あわしま堂	3-82	リコージャパン(株) 愛媛支社	3-145	(有)シグマ企画
3-21	ジャスティン(株)	3-83	(有)角田塗装工業	3-146	(株)イクシオ
3-22	愛媛シールド工業(株)	3-84	ABC 開発(株)	3-147	日本生命保険(株) 松山支社
3-23	(株)建設マネジメント四国 大洲営業所	3-85	(有)ウエコー	3-148	損害保険ジャパン(株) 愛媛支店
3-24	安藤工業(株)	3-86	(株)中温	3-149	(株)古湧園(ホテル古湧園遥)
3-25	(株)宝荘ホテル(道後御湯)	3-87	三王ハウジング(株)	3-150	トヨタカローラ愛媛(株)
3-26	岡田電機(株)	3-88	東武トップツアーズ(株) 松山支店	3-151	(株)LIHO ライジング
3-27	(株)Saku Saku	3-89	企業組合こもねっと	3-152	丹下建設工業(株)
3-28	(有)エントロピー	3-90	(株)建設マネジメント四国 松山営業所	3-153	(株)だんだん村
3-29	(有)田中総業	3-91	(有)タカヨシ工業所	3-154	宇摩森林組合
3-30	NTT西日本ビジネスフロント(株) 愛媛支店	3-92	(株)輝城	3-155	(株)ファミリーマート オペレーション本部 四国リージョン
3-31	阿川食品(株)	3-93	ヴェオリア・ジェネッツ(株) 新居浜営業所	3-156	宇和島自動車運送(株)
3-32	(株)コスにじゅういち	3-94	宗教法人法華寺	3-157	愛媛菅公学生服(株)
3-33	福神汽船(株)	3-95	四国加工(株)	3-158	(株)前川
3-34	桜井工業(株)	3-96	(株)広告通信社 四国支店	3-159	(株)OK.G
3-35	白石建設工業(株)	3-97	あいおいニッセイ同和損害保険(株) 愛媛支店	3-160	(株)瀬戸内しまなみリーディング
3-36	東京海上日動火災保険(株) 愛媛支店	3-98	(株)エコアシスト	3-161	(株)大昌鉄工所
3-37	(株)さかい総合保険事務所	3-99	(株)沼田建設	3-162	(株)ケン・マツウラレーシングサービス
3-38	(株)日本有機四国	3-100	ウダカエンジニアリング(株)	3-163	(株)風土
3-39	(株)森薫	3-101	住友生命保険(株) 新居浜支社	3-164	森実タウンサービス(株)
3-40	青木電気工業(株)	3-102	愛媛トヨタ自動車(株)	3-165	社会福祉法人恩賜財団済生会松山病院
3-41	(株)エイ・ビー・エム	3-103	ネットトヨタ瀬戸内(株)	3-166	大和ハウス工業(株) 愛媛支店
3-42	(株)ケイ・アール総合企画	3-104	ためき本舗(株)	3-167	今治商工会議所
3-43	(株)ホーム設備	3-106	(株)新光	3-168	(株)白石工務店
3-44	ソフトサイエンス(株)	3-107	(株)ローソン	3-169	徳山総業(株)
3-45	松竹塗装(有)	3-108	荒川電工(株) 松山営業所	3-170	一宮運輸(株)
3-46	(株)山装	3-109	三井住友海上火災保険(株) 四国西支店	3-171	(有)松本組
3-47	三井住友海上エイジェンシー・サービス(株) 松山支店	3-110	リープグロウ(同)	3-172	宇和土建(株)
3-48	(株)阪急交通社 松山支店	3-111	(株)よしだ	3-173	(株)MEG
3-49	ARISEBO	3-112	大和リース(株) 松山支店	3-174	(株)マルケイ
3-50	ダイキンエアテクノ(株) 四国支店	3-113	(株)光和電機	3-175	峰ちゃん農園
3-51	(株)ヒコ建設工業	3-114	(株)ドコモCS 四国 愛媛支店	3-176	(株)フジコン
3-52	ヴェオリア・ジェネッツ(株) 松山営業所	3-115	佐川印刷(株)	3-177	岡崎建設(株)
3-53	(株)オールウェイズ	3-116	南海測量設計(株)	3-178	伊藤善建設工業(株)
3-54	西条建設(株)	3-117	(株)洋武建設	3-179	(有)清水防災
3-55	(株)山全 愛媛営業所	3-118	加藤塗装工業(株)	3-180	富永建設(有)
3-56	みずほ証券(株) 松山支店	3-119	旭食品(株) 松山支店		
3-57	(有)福田瓦工業	3-120	四国ガス(株)		
3-58	コンフォートホテル松山(株)グリーンズ	3-121	(有)森本設備		
3-59	農業生産法人(株)ミヤモトオレンジガーデン	3-122	(株)勝山水道工業所		
3-60	(株)田窪工業所	3-123	(株)グラン・ジュテ		
3-61	(有)土居真珠	3-124	大王製紙(株)		
3-62	(株)Protea	3-125	(株)NTTフィールドテクノ 愛媛設備部		

※申請受付順 ※令和6年3月14日時点
登録辞退者があるため3-105は欠番



「愛媛県SDGs推進企業」に関するお問合せ

愛媛県経済労働部産業雇用局産業政策課 経済企画グループ
〒790-8570 愛媛県松山市一番町四丁目4番地2
TEL / 089-912-2475 FAX / 089-912-2259

令和6年3月発行



こみきやん